

消 防 年 報

令和4年（2022年）版

宇部・山陽小野田消防組合

令和5年刊行

は し が き

この消防年報は、宇部・山陽小野田消防組合の消防現勢及び令和4年（1月から12月まで）中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、編集資料について、組織・予算・予防・施設に関するものは令和5年4月1日（一部令和5年3月31日）、火災・救急・救助等に関するものは令和4年12月末日をもって編集しました。

この年報が消防関係者のもとより、広くあらゆる方面で御活用いただき、本消防組合に対する御理解を深めていただければ幸いです。

令和5年8月

宇部・山陽小野田消防組合

目 次

管 内 概 況

1	管内の概要	3
2	構成市の位置図	3
3	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画	4
4	消防の沿革	5
	(1) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革	5
	(2) 宇部市消防の沿革	7
	(3) 小野田市消防の沿革	10
	(4) 山陽町消防の沿革	12
	(5) 山陽小野田市消防の沿革	13
5	歴代消防長	14
6	過去の主な災害等	16
	(1) 宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録	16
	(2) 宇部市の主な火災記録	16
	(3) 旧小野田市の主な火災記録	17
	(4) 旧山陽町の主な火災記録	17
	(5) 山陽小野田市の主な火災記録	18
	(6) 宇部・山陽小野田地区における自然災害	18
7	応援協定等締結状況	19

総 務

1	宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務	23
2	消防局・消防署職員配置表	25
3	消防職員階級別年齢	28
4	消防職員階級別勤続年数	28
5	職員研修状況	29
6	特殊技能・技術資格者	30

情 報 財 政

1	消防予算	33
2	消防庁舎	35

予 防

1	防火対象物	39
	(1) 棟数及び立入検査	39
	(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況	40
2	建築確認同意処理件数	41
3	防火管理者選任状況	42
4	危険物施設設置状況	43
5	危険物許認可状況	44

6	危険物施設の現況及び立入検査状況	45
7	宇部・小野田地区特別防災区域	46
	(1) 宇部市	46
	(2) 山陽小野田市	47
8	火薬類取締法関係処理状況	49
9	消防協力団体の現況	50

警 防

1	消防配置図	55
2	消防車両	56
3	消防水利	59
	(1) 消火栓	59
	(2) 防火水槽	59
	(3) その他	59
4	化学消火剤備蓄状況	59
5	火災	60
	(1) 月別火災発生状況	60
	(2) 火災種別ごとの件数	61
	(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者	61
	(4) 火災種別ごとの損害額	62
	(5) 焼損面積	62
	(6) 曜日別火災発生状況	63
	(7) 時間帯別火災発生状況	64
	(8) 過去5年間の火災発生状況	65
	(9) 過去5年間の火災種別件数	66
	(10) 過去5年間の火災原因別件数	67
	(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）	68
6	救急	69
	(1) 過去5年間の救急状況	69
	(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況	70
	(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員	71
	(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー）出場件数及び搬送人員	72
	(5) 事故種別・月別出場件数・搬送人員	73
	(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員	74
	(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員	75
	(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	76
7	救助	77
8	火災以外の出動	78
9	救急講習	79

通 信 指 令

1	消防通信施設	83
	(1) 消防指令センター	83

(2) 電話回線	83
(3) システム構成図	84
(4) 自家用発電機	85
(5) 無線局	86
2 119回線着信件数	87

消 防 団

1 消防団組織図	91
(1) 宇部市消防団	91
(2) 山陽小野田市消防団	92
2 消防団配置図	93
(1) 宇部市消防団	93
(2) 山陽小野田市消防団	94
3 消防団員階級別年齢	95
4 消防団員階級別勤続年数	96
5 消防団員年報酬及び費用弁償	97
6 消防団災害出動状況	98
7 消防団車両及び機械器具	99
(1) 配備管理状況	99
(2) 消防ポンプ自動車	101
(3) 小型動力ポンプ積載車	102
(4) 小型動力ポンプ	103
(5) その他の車両	104
8 消防団機庫	105
9 消防団協力事業所	108

管内概況

UBE 宇部市

未来を彫刻するまち

宇部市

誰かが創る宇部じゃなく、みんなで創る宇部に。

創造力で新しいものをつくりだす「彫刻」のように、
宇部に生きるすべての人が持つ、ひらめきと声は、
未来を形づくる限りないエネルギー。

そのチカラをひとつにして、ともに次の 100 年へ。

誰かが創る宇部じゃなく、みんなで創る宇部に。

未来を彫刻するまち、宇部です。



山陽小野田市

活力と笑顔あふれるまち
スマイルシティ山陽小野田

将来都市像の実現に向けて、歴史・産業・教育・文化・自然・スポーツといった地域資源など、本市の特性を最大限に活かしながら、市民一人ひとりが希望をもっていきいきと暮らしていくことができ、ひとが輝き、活力に満ち、市民の笑顔が広がる輝く魅力あるまちとなることを目指して施策を展開しています。

一目でわかる消防統計

令和5年4月1日現在

※令和4年12月末日現在



管轄面積

419.74km²



構成市

宇部市
山陽小野田市



人口と世帯数

人口 219,405人
世帯数 108,852世帯



職員数

定員 350人
実員 315人



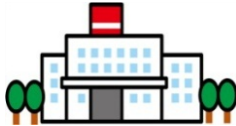
常備消防費予算

3,242,258千円



署所

消防署 4署
出張所 4所



防火対象物

8,934施設



危険物施設

1,490施設



防火クラブ

幼年消防クラブ 19
少年消防クラブ 8
女性防火クラブ 1



消防車

ポンプ車 21台
その他車両 36台



救急車

高規格救急自動車 12台



消防水利

消火栓 3,622基
防火水槽 374基



火災件数※

火災件数 80件
死者 1人
負傷者 11人



救急件数※

出動件数 10,896件
搬送人員 8,701人



救助件数※

出動件数 74件
救助人員 47人



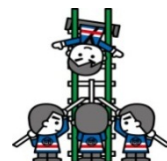
119回線着信件数※

17,333件



宇部市消防団

分団数 15分団
団員数 607人
消防防災サポーター 24人



山陽小野田市消防団

分団数 13分団
団員数 378人

1 管内の概要

宇部・山陽小野田消防組合は、宇部市及び山陽小野田市をもって組織され、本州西端にある山口県の南西部に位置し、西は下関市、北は美祢市、東は山口市、南は瀬戸内海に面しています。

交通環境を見ると、鉄道は JR 山陽新幹線をはじめ、山陽本線、宇部線、小野田線及び美祢線が東西南北に走り、高速道路は山陽自動車道が管内の中央部を横断し、海浜部には重要港湾である宇部港、小野田港があり、市街地に近い位置に山口宇部空港もあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。

気候は、年間を通じて温暖で雨が比較的小さい典型的な瀬戸内海式気候で、丘陵地や干拓地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。

また、南は瀬戸内海に面していることから、山と海の幸に恵まれ、市街地には厚東川、有帆川、厚狭川が流れ、貴重な水辺環境を有しています。

両市は、いずれも明治期以降、石炭産業の振興により、近代的な工業都市として発展し、現在でも瀬戸内有数の臨海工業地帯を形成しています。

2 構成市の位置図



令和5年4月1日現在

	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	市の木	市の花
宇 部 市	159,608	79,939	286.65	クスノキ	サルビア ツツジ
山陽小野田市	59,797	28,913	133.09	クロガネモチ	ツツジ
計	219,405	108,852	419.74	—	—

3 第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画

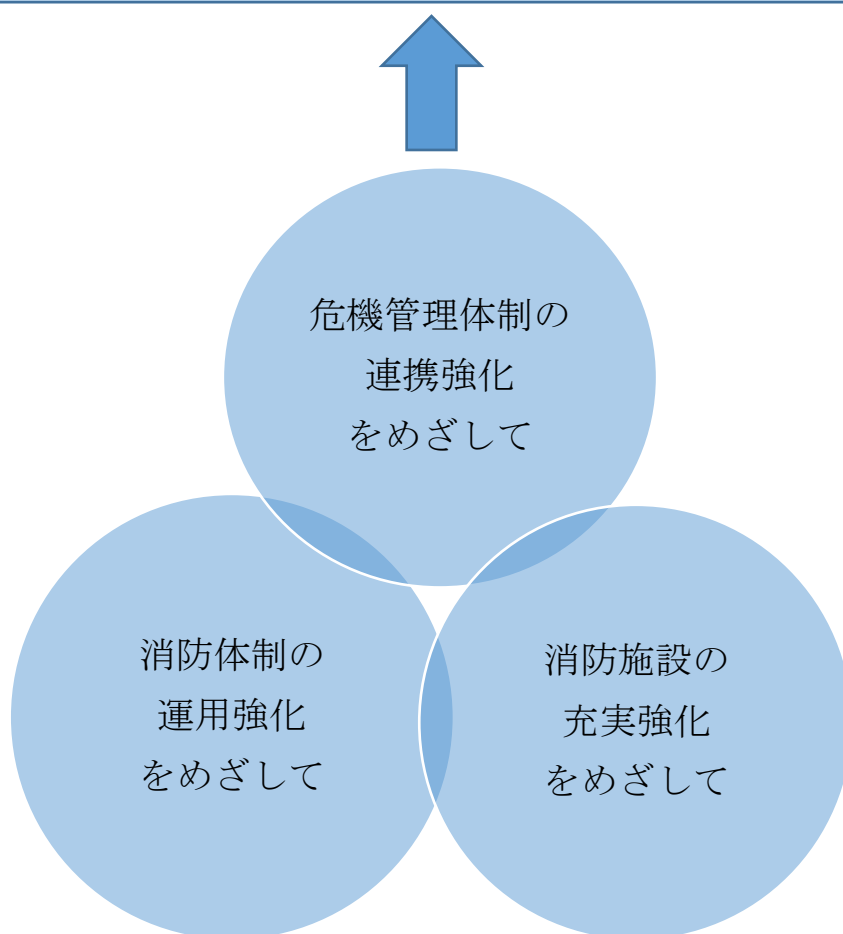
宇部・山陽小野田消防組合は、平成24年4月1日から消防業務の共同処理を開始するにあたり、宇部・山陽小野田消防局実行計画を策定し、業務を推進してきました。

この宇部・山陽小野田消防局実行計画が平成26年度で終了したことから、各種災害への対応や社会情勢及び多様化する住民ニーズに的確に応えるための指針として、第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定しました。

基本計画は、基本構想と実行計画で構成され、基本構想は平成27年度から令和5年度までの9年間の消防組合の施策を体系的に定めたもので、基本構想で示した基本方針、大綱に基づく施策を実施するために、具体的な事務事業を明示したものが、実行計画となります。これらに基づき、消防組合の目指すべき姿を具体化するとともに、各種施策に積極的かつ献身的に取り組み、強力に推進していきます。

[基本方針]

住民とともに歩む安心して暮らせる安全な都市（まち）をめざして



4 消防の沿革

(1) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2008年 平成20年 5月	山口県は、消防組織法の一部を改正する法律(平成18年法律第64号)及び市町村の消防の広域化に関する基本指針(平成18年7月12日消防庁告示第33号)を受け「山口県消防広域化推進計画」を策定
2009年 平成21年11月20日	宇部市と山陽小野田市は、市街地や石油コンビナートが一体化しさらに都市形態も類似しているため、効果的かつ効率的な消防体制の構築が図られると考え、「宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会」を設置し、消防の広域化について検討を開始
2009年 平成21年11月20日	第1回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 2月13日	第2回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 5月20日	第3回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 8月11日	第4回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年10月15日	第5回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年11月15日	第6回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2011年 平成23年 1月 4日	宇部市と山陽小野田市は、両市の消防広域化に係る広域消防運営計画の作成及びこれに附帯する事務を共同して行うため、「宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会」を設置
2011年 平成23年 2月16日	第1回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 3月29日	第2回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 5月31日	第3回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 6月29日	第4回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 7月20日	第5回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 8月 1日	第6回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年10月20日	第7回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催

(西暦) 年 月 日	沿 革
2011年 平成23年10月20日	宇部市・山陽小野田市広域消防運営計画を策定
2011年 平成23年11月30日	山口県知事から、宇部市及び山陽小野田市の両市長に「宇部・山陽小野田消防組合」の設置許可書が交付される。 ※宇部・山陽小野田消防組合発足（平成18年の消防組織法改正後に消防が広域化されるのは、全国で7番目、県内では初の取り組み）
2012年 平成24年 2月20日	第1回宇部・山陽小野田消防組合議会 定例会開催
2012年 平成24年 3月30日	宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会 廃止
2012年 平成24年 4月 1日	「宇部・山陽小野田消防局」が発足し、1本部4署4出張所、職員定数298人で消防業務を開始
2013年 平成25年 3月28日	山陽小野田市大字厚狭487番地9へ山陽消防署を新築移転し、竣工式を挙げる
2014年 平成26年 3月 2日	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用開始
2014年 平成26年 8月22日	緊急消防援助隊（延べ13隊、52人）を広島市土砂災害（広島県広島市安佐南区）の被災地へ9日間派遣
2015年 平成27年 1月28日	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定
2016年 平成28年 4月16日	緊急消防援助隊（延べ12隊、44人）を熊本地震（熊本県南阿蘇村河陽地区ほか）の被災地へ6日間派遣
2017年 平成29年 7月 6日	緊急消防援助隊（延べ27隊、108人）を平成29年7月九州北部豪雨災害（福岡県朝倉郡東峰村ほか）の被災地へ20日間派遣
2018年 平成30年 3月25日	宇部市大字船木461番地1へ宇部西消防署楠出張所を新築移転し、開所式を挙げる
2018年 平成30年 7月 6日	緊急消防援助隊（延べ12隊、34人）を平成30年7月豪雨災害（広島県安芸区矢野東付近ほか）の被災地へ13日間派遣
2020年 令和 2年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を315人に増員
2020年 令和 2年 7月 6日	緊急消防援助隊（延べ16隊、48人）を令和2年7月豪雨災害（熊本県八代市及び球磨郡球磨村ほか）の被災地へ9日間派遣
2023年 令和 5年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を350人に増員

(2) 宇部市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1921年 大正10年11月11日	村から一躍市政を施行。消防組織は消防組と称し、市域を4部に分け、各部32人をもって組織し、腕用ポンプを配備
1931年 昭和6年	藤山村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1939年 昭和14年4月1日	消防組を警防団に改名し、市域を11分団、各250人程度に編成
1941年 昭和16年	厚南村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1943年 昭和18年	西岐波村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1944年 昭和19年3月24日	宇部市小串通り渡辺翁記念会館内に山口県宇部消防署が設置(勅令第137号特設消防規定に基づく)され、防府市と山口市にその出張所を設置
1947年 昭和22年9月	終戦による警防団の解散に伴い、新たに11分団定員419人の消防団が結成
1947年 昭和22年12月23日	消防組織法が公布され、従来の官設消防は、警察から分離して民主的な自治体消防として発足
1948年 昭和23年3月7日	消防組織法の施行に伴い、宇部市消防本部を宇部市常盤通り一丁目宇部市役所内に設置し、宇部市消防署は従前どおり渡辺翁記念会館内に存置して、自治体消防として新発足 また、防府、山口両市の出張所は宇部消防署の管轄を離れ、人員機材をそのままに両市自治体消防として発足
1948年 昭和23年7月24日	消防法が公布され、消防業務は従来の水火災の防御鎮圧分野から大きく進展し、火災予防、原因の調査、建築許可等の同意、危険物の取締等の消防行政に画期的な職権が付与
1950年 昭和25年9月16日	宇部市消防本部を渡辺翁記念会館内(宇部市消防署と同一箇所)に移転
1954年 昭和29年10月1日	厚東、二俣瀬、小野、東岐波の4村が合併
1956年 昭和31年11月	消防団の機構改革を行い、11分団、定員600人に統合
1960年 昭和35年9月1日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を常盤町二丁目、郵便局庁舎北隣の新庁舎に移転
1963年 昭和38年9月10日	消防法の一部改正により、救急業務が制度化され、救急車1台を配備して、救急隊を編成

(西暦) 年 月 日	沿 革
1970年 昭和45年11月	宇部市消防団の事務局を市長部局から消防本部総務課へ移管
1975年 昭和50年 9月26日	山口県消防操法大会応急操法ポンプ車の部において初優勝
1977年 昭和52年 4月 1日	吉敷郡阿知須町から同町の救急業務に関する事務を受託
1977年 昭和52年 4月 1日	宇部市消防本部消防職員共済会設立
1978年 昭和53年 4月18日	厚南中野に厚南消防出張所を建築、消防業務を開始し職員定数を97人に増員
1980年 昭和55年 4月 1日	西岐波西大道に東部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を124人に増員
1982年 昭和57年12月 6日	山口宇部空港内に空港分遣所を設置
1988年 昭和63年 3月31日	山口宇部空港内の空港分遣所を廃止
1989年 平成 元年 1月19日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を港町二丁目の新庁舎に移転し、消防緊急情報システムを導入
1990年 平成 2年11月30日	高齢化社会に伴い、緊急時の通報として宇部市緊急通報システムを構築し、集中管理センターを消防本部通信指令室に設置
1991年 平成 3年 9月26日	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
1992年 平成 4年11月 6日	救急救命士及び高規格救急自動車による高度処置救急隊の運用開始
1995年 平成 7年 4月 1日	二俣瀬に北部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を161人に増員
1995年 平成 7年 8月 1日	宇部地区地震連絡協議会を設立(同年7月31日)し地震発生情報伝達システムの運用を開始
1996年 平成 8年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を164人に増員
1997年 平成 9年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を170人に増員
1997年 平成 9年 5月15日	山口県消防大会を開催
1998年 平成10年 4月 1日	西部消防出張所を西消防署に昇格し、職員定数を176人に増員

(西暦)	年	月	日	沿 革
1999年	平成11年	10月	1日	消防緊急通信指令施設更新
2000年	平成12年	4月	1日	消防の充実強化及び拡充を図るため、職員定数を184人に増員し通信指令部門を通信指令課として独立
2000年	平成12年	10月	1日	吉敷郡阿知須町から同町の消防業務に関する事務を受託
2002年	平成14年	4月	1日	中央消防署に救助係を設置
2002年	平成14年	10月	16日	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を阿知須町きらら浜で実施
2003年	平成15年	8月	1日	救命率向上を図るため、山口大学医学部附属病院と相互協力し、救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）を運用開始
2004年	平成16年	11月	1日	楠町との合併により楠消防出張所を開設し、1本部、2署、3出張所、職員定数194人で運用開始 また宇部市消防団の定員を宇部消防団560人、楠消防団180人で運用開始
2007年	平成19年	3月	1日	高規格救急自動車1台を導入し、保有する7台全ての救急車の高規格化が完了
2007年	平成19年	4月	1日	宇部消防団に方面隊を組織し、定員520人に改正
2008年	平成20年	5月	30日	宇部市危険物安全協会と宇部市防火協会を統合し、宇部市防災協会を設立
2008年	平成20年	9月	20日	山口県消防操法大会基本操法小型ポンプの部において初優勝
2009年	平成21年	10月	31日	山口市阿知須区域の事務受託を廃止
2011年	平成23年	3月	14日	緊急消防援助隊（4隊、13人、車両4台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ4日間派遣
2013年	平成25年	4月	1日	宇部市消防団（宇部消防団、楠消防団）が統合

(3) 小野田市消防の沿革

(西暦)	年	月	日	沿	革
1898年	明治31年	2月		須恵村に公設消防組を設置	
1908年	明治41年	9月		高千帆村に公設消防組を設置	
1939年	昭和14年	4月15日		小野田・高千帆両町の消防組を警防団に改名	
1940年	昭和15年	11月3日		小野田町と高千帆町が合併して小野田市となり、両町の警防団は小野田市警防団と再編	
1947年	昭和22年	6月27日		小野田市消防団を結成し、団本部と8個分団を編成、450人の組織を設置	
1948年	昭和23年	12月1日		市役所社会課内に小野田市消防本部を設置	
1949年	昭和24年	5月1日		小野田市大字小野田5993番地へ消防本部を設置し、当市消防行政は市の一般行政から独立、消防職員の定数は消防長以下5人で、消防業務を開始	
1950年	昭和25年	4月1日		小野田市消防団員の定員を450人から275人に改正	
1951年	昭和26年	1月18日		消防団第2分団の水上部を独立させ、水上分団を設置	
1951年	昭和26年	8月3日		市長、消防長、団長、市議会議員4人、一般有識者10人により小野田市消防委員会を設置	
1955年	昭和30年	5月30日		高松宮殿下を迎え、消防自動車80台、消防職団員3,000人による山口県消防機関連合訓練大会を挙行	
1963年	昭和38年	3月9日		小野田市大字小野田5896番地の1に消防本部・署庁舎を新築移転	
1963年	昭和38年	4月1日		小野田市危険物安全協会を設立(10事業所)	
1964年	昭和39年	12月11日		非常災害連絡用として消防無線局を開局 ・基地局(10W 1基) ・陸上移動局(10W 3基) ・携帯陸上移動局(1W 2基)	
1965年	昭和40年	10月1日		救急業務を開始	
1970年	昭和45年	12月1日		小野田市化学消火剤共同備蓄会を設立(34事業所)	
1977年	昭和52年	10月17日		大型化学消防自動車、大型高所放水車、泡原液搬送車を配置	
1978年	昭和53年	12月5日		一斉指令装置を設置	

(西暦)	年	月	日	沿 革
1983年	昭和58年	7月	1日	機構改革により、新たに予防課を設置、総務課に消防団係を設置
1985年	昭和60年	6月	1日	石井手保育園に幼年消防クラブを結成、以後6保育園がクラブを結成
1985年	昭和60年	7月	19日	刈屋婦人防火クラブを結成
1985年	昭和60年	9月	1日	小野田市防火委員会を結成
1987年	昭和62年	11月	11日	全国消防長会危険物委員会を開催
1990年	平成2年	5月	23日	山口県消防大会を開催
1992年	平成4年	4月	1日	女性消防団員10人を採用
1993年	平成5年	4月	1日	職員定数を54人から57人に増員
1995年	平成7年	9月	1日	県下初の地震を想定した山口県総合防災訓練を実施
1995年	平成7年	10月	24日	山口県幼年消防大会を開催
1996年	平成8年	4月	1日	高規格救急自動車を新規配備し高度救急業務を開始
1997年	平成9年	3月	26日	耐震性貯水槽（100t）新設、以後市街地に9基設置
1999年	平成11年	3月	25日	消防緊急通信指令施設（I型）が完成
1999年	平成11年	4月	1日	小野田市高栄一丁目6番1号へ消防本部・消防署庁舎を新築移転し、供用開始（本庁舎：鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建）
1999年	平成11年	7月	1日	きららビーチ完成に伴い、消防署に水難救助隊を設置
2000年	平成12年	1月	20日	消防訓練塔完成（主塔：5階建、補助塔：3階建）
2000年	平成12年	3月	29日	化学消火薬剤備蓄タンク（20k1）及び消火薬剤倉庫が完成
2000年	平成12年	6月	8日	山口県危険物安全大会を開催
2002年	平成14年	3月	27日	小野田市消防団が地域活動功労による消防庁長官表彰を山口県で初受賞
2002年	平成14年	10月	17日	全国消防長会予防委員会を開催
2005年	平成17年	3月	21日	小野田市消防委員会を廃止

(4) 山陽町消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1948年 昭和23年 8月	厚狭町消防本部を設置
1956年 昭和31年 9月	厚狭町と埴生町が合併し山陽町となり、山陽町消防本部を設置
1963年 昭和38年 1月	山陽町危険物安全協会を設立
1971年 昭和46年 4月	楠町と救急業務に関する事務委託協定を締結
1973年 昭和48年 6月	山陽地区消防組合を設立(許可番号:指令地方第327号) 山陽町と楠町で消防に関する事務を共同処理
1974年 昭和49年10月	楠出張所開設、職員6人、消防ポンプ車、救急車、連絡車の3台配備し業務開始 埴生出張所(旧埴生消防事務室)開設、職員5人、消防団消防ポンプ自動車を管理
1981年 昭和56年 4月	埴生出張所完成、職員7人、水槽付消防ポンプ車、救急車、連絡車の3台を配備
1993年 平成5年 3月	消防緊急通信指令施設(I型)を設置
1993年 平成5年 7月	消防組合発足20周年記念式典を開催
1994年 平成6年 3月	消防用無線中継局を松岳山に開局
1994年 平成6年11月	山陽署事務室等増築
2000年 平成12年 8月	山口県総合防災訓練を実施
2002年 平成14年 4月	高規格救急自動車を山陽消防署に配備し高度救急業務開始
2003年 平成15年 6月	山口県危険物安全大会を開催
2004年 平成16年 4月	職員8人(内3人救急救命士)を採用し実員64人に増員
2004年 平成16年 5月	山口県消防大会を開催
2004年 平成16年10月31日	組合構成団体の楠町が宇部市と合併、山陽地区消防組合を解散
2004年 平成16年11月 1日	山陽町消防本部を設立 1本部1署1出張所、職員定数54人で消防業務開始

(5) 山陽小野田市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2005年 平成17年 3月22日	<p>小野田市と山陽町の合併により、山陽小野田市が誕生したことに伴い、常備消防は、2消防本部が統合して山陽小野田市消防本部（山陽小野田市高栄一丁目6番1号）が発足、1本部2署1出張所、職員定数110人の消防体制で消防業務を開始</p> <p>一方、非常備消防も2市町の消防団が統合し、1団本部、22分団、定員503人による消防団組織を編成</p>
2005年 平成17年 9月17日	<p>山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝</p>
2006年 平成18年 3月20日	<p>消防緊急通信指令システム（I型）を更新</p>
2006年 平成18年 5月28日	<p>消防学校フェスタで従来の幼年消防クラブ大会に替えて、山陽小野田市引受けによるちびっ子防火フェアを開催</p>
2007年 平成19年 4月 1日	<p>山陽小野田市消防団は合併協定事項に基づき、小学校区を基本に統合、合併当時の22個分団を13個分団に再編し、定員も503人から485人に改正、業務開始</p>
2007年 平成19年 4月12日	<p>出合分団及び厚陽分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施</p>
2008年 平成20年 3月18日	<p>厚狭北分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施</p>
2011年 平成23年 3月14日	<p>緊急消防援助隊（2隊、5人、車両2台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ4日間派遣</p>

5 歴代消防長

(1) 宇部・山陽小野田消防局

代	氏名	期間	備考
初	杉野嘉裕	平成24年4月1日～平成27年3月31日	
2	江本祥三	平成27年4月1日～平成29年3月31日	
3	山本晃	平成29年4月1日～平成31年3月31日	
4	石部隆	平成31年4月1日～令和5年3月31日	
5	杉本秀一	令和5年4月1日～現在	

(2) 宇部市

代	氏名	期間	備考
初	星出寿雄	昭和23年3月7日～昭和25年9月15日	助役
2	中間義雄	昭和25年9月16日～昭和42年3月31日	
3	西田竹一	昭和42年4月1日～昭和42年5月31日	助役
4	三井太兵衛	昭和42年6月1日～昭和48年1月10日	
5	西田一美	昭和48年1月11日～昭和52年11月30日	
6	穂村馨	昭和52年12月1日～昭和55年3月31日	
7	佐野慶一	昭和55年4月1日～昭和58年3月3日	
8	石土吾市	昭和58年3月4日～昭和61年3月31日	
9	中川典義	昭和61年4月1日～平成元年3月31日	
10	河野積善	平成元年4月1日～平成2年3月31日	
11	片岡信行	平成2年4月1日～平成4年3月31日	
12	山縣熙	平成4年4月1日～平成8年3月31日	
13	若杉清美	平成8年4月1日～平成11年3月31日	
14	神田義正	平成11年4月1日～平成13年3月31日	
15	原谷恒雄	平成13年4月1日～平成15年3月31日	
16	中山武久	平成15年4月1日～平成17年3月31日	
17	矢野洋司	平成17年4月1日～平成19年3月31日	
18	利重和彦	平成19年4月1日～平成22年3月31日	
19	芥川貴久爾	平成22年4月1日～平成24年3月31日	

(3) 小野田市

代	氏名	期間	備考
初	森本品一	昭和23年5月1日～昭和32年7月10日	
2	豊田重康	昭和32年7月11日～昭和39年3月31日	
3	近間武久	昭和39年4月1日～昭和43年3月31日	
4	岡義雄	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日	
5	大中誠	昭和47年4月1日～昭和48年3月30日	

6	濱崎清治	昭和48年10月1日～昭和59年3月31日	
7	金澤俊雄	昭和59年4月1日～昭和62年3月31日	
8	西田一	昭和62年4月1日～平成元年3月31日	
9	尾山克己	平成元年4月1日～平成3年6月20日	
10	西村信二	平成3年6月21日～平成8年3月31日	
11	平田武	平成8年4月1日～平成10年3月31日	
12	高橋茂	平成10年4月1日～平成16年3月31日	
13	中里裕典	平成16年4月1日～平成17年3月21日	

(4) 山陽町

代	氏名	期間	備考
初	真鍋亭造	昭和23年8月1日～昭和25年4月1日	助役
2	八木正一	昭和25年5月4日～昭和27年5月31日	助役
3	中村貞雄	昭和27年10月11日～昭和31年11月5日	助役
4	細迫左文太	昭和31年11月17日～昭和33年4月9日	町長
5	縄田定人	昭和33年6月15日～昭和39年12月31日	助役
6	田中文	昭和40年4月5日～昭和43年11月20日	助役
7	小玉礦	昭和44年2月1日～昭和45年4月30日	職務代理
8	福永内匠	昭和45年5月1日～昭和46年6月15日	
9	小玉礦	昭和46年7月1日～昭和48年5月31日	
10	安部學	平成16年10月1日～平成17年3月21日	

(5) 山陽地区消防組合

初	小玉礦	昭和48年6月1日～昭和58年1月10日	
2	庄野義章	昭和58年1月11日～昭和60年3月31日	
3	金重成昭	昭和60年4月1日～昭和63年3月31日	
4	尾田勝	昭和63年4月1日～平成7年3月31日	
5	野村隆之	平成7年4月1日～平成13年3月31日	
6	笹木慶之	平成13年4月1日～平成14年3月31日	
7	安部學	平成14年4月1日～平成16年9月30日	

(6) 山陽小野田市

代	氏名	期間	備考
初	中里裕典	平成17年3月22日～平成20年3月31日	
2	山根雅敏	平成20年4月1日～平成22年3月31日	
3	松野清和	平成22年4月1日～平成24年3月31日	

6 過去の主な災害等

(1) 宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H25. 9. 8	宇部市 大字沖宇部	工場内の中間製品貯蔵タンクより出火 損害額 7, 440千円 軽症2人
H26. 4. 27	宇部市 大字今富	倉庫から出火し、山林に延焼 建物9棟全焼、1棟部分焼 (836㎡) 損害額 7, 849千円 山林61a焼失
H26. 8. 18	山陽小野田市 新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 122, 409千円
H27. 5. 1	山陽小野田市 大字小野田	工場内のベルトコンベアーから出火 損害額 9, 428千円
H27. 8. 5	山陽小野田市 港町	ガス充てん工場作業場から出火 損害額 84, 040千円 負傷者1人

(2) 宇部市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S20. 7. 2	市内	B29爆撃機による空襲 4, 953戸全焼 り災世帯23, 413世帯 死者336人 負傷者591人
S25. 2. 18	常盤町二丁目	百貨店から出火 建物7棟焼損(1, 404㎡) 損害額 21, 989千円
S28. 3. 2	梶返	中学校から出火 建物4棟焼損(5, 690㎡) 負傷者 6人 損害額 70, 000千円
S30. 11. 20	小串	病院から出火 建物1棟全焼(2, 507㎡) 損害額 24, 717千円
S34. 7. 11	大字藤曲	化学工場が爆発 建物1棟(560㎡) 死者11人 負傷者38人 損害額 250, 000千円
S36. 4. 1	川上(男山)	山林から出火 3日間延焼 462ha焼失 損害額 37, 582千円
S37. 10. 29	大字上宇部	高等学校から出火 建物4棟焼損(999㎡) 損害額 2, 704千円
S40. 3. 19	東海岸通り二丁目	木工所から出火 建物12棟焼損(1, 788㎡) り災世帯19世帯 負傷者2人 損害額 30, 506千円
S43. 6. 12	中央町三丁目	家具百貨店から出火 建物18棟焼損(2, 658㎡) り災世帯26世帯 負傷者2人 損害額 93, 458千円
H元. 12. 7	新天町二丁目	物品販売店舗から出火 建物1棟全焼(4, 068㎡) り災世帯3世帯 負傷者3人 損害額 510, 776千円

(3) 旧小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S26. 6. 6	くし山中	小学校から出火 校舎2棟全焼(919㎡) 損害額 7,048千円
S30. 3. 7	北栄町	映画館から出火 建物1棟全焼(659㎡) 損害額 5,050千円
S33. 4. 8	くし山東	高等学校から出火 校舎1棟全焼(347㎡) 損害額 1,700千円
S34. 11. 13	第一日の出町	パチンコ店から出火 建物3棟全焼(292㎡) り災世帯12世帯 り災人員41人 損害額 168,298千円
S53. 4. 9	北真土郷	林野から出火 焼損面積27ha 損害額 24,003千円
S56. 7. 7	西沖	石油精製工場(動力管理室から出火)建物1棟部分焼 損害額 17,130千円(原因は落雷) 負傷者1人
S59. 2. 28	丸河内一区	電気製品の倉庫から出火 建物1棟全焼(869㎡) 損害額 134,410千円
S60. 6. 23	南真土郷	樹脂工場から出火 建物1棟全焼(660㎡) 損害額 151,675千円
S63. 4. 26	平和町	専用住宅から出火 建物20棟を全半焼(1,486㎡) り災世帯25世帯 り災人員63人 損害額 347,974千円
H11. 9. 7	小野田港	製鋼工場から水蒸気爆発が発生 出火建物は爆発により損壊したが、 火災による損害はスクラップのみ

(4) 旧山陽町の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S25. 5. 15	火薬町	化学工場内の廃酸分解から出火 建物3戸全焼(298㎡) 損害額 100,000千円 半焼1戸 死者3人
S26. 6. 7	本町1	映画館から出火 映画館(200㎡)を全焼 半焼5戸 損害額 8,750千円 り災世帯6世帯
S35. 2. 20	山陽本線	山陽本線厚狭埴生駅間「さくら」の電源車から出火 損害額31,320千円
S40. 3. 21	保戸	山林から出火 山林13.8ha焼失 損害額 2,202千円
S42. 6. 4	大持	山林から出火 再燃で延べ4日間にわたり延焼 損害額 6,291千円、山林18.4ha焼失
S43. 4. 30	大持	山林から出火 山林10.3ha焼失 損害額 458千円
S45. 1. 16	殿町3	小学校(木造2階建)から出火 校舎半焼(542㎡) 損害額 2,634千円
H15. 11. 8	浜崎	「まつり山陽」前夜祭花火大会において花火の爆発事故 損害額 94千円 死者2人 重症1人 軽症1人

(5) 山陽小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H17.10.24	新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 47,806千円

(6) 宇部・山陽小野田地区における自然災害

年 月 日	内 容	被 害 概 要	
		宇 部 市	山陽小野田市
S17. 8.27	周防灘台風により高潮が発生、市内堤防が相次いで決壊し市街地及び低地に海水が浸水し、甚大な被害をもたらした。	死者 232 人、行方不明 65 人、負傷者 118 人、家屋全壊 71 戸、家屋流出 472 戸、家屋半壊 643 戸、浸水 5,082 戸	(小野田市)死者 141 人、行方不明 3 人、負傷者 27 人、家屋全壊 195 戸、家屋流出 96 戸、家屋半壊 985 戸、床上浸水 509 戸、船舶流失 350 艘
S28.6.25 ~6.29	九州山口を豪雨が襲い、約 5 日間にわたる記録的な大雨となり、大きな被害をもたらした。	死者 1 人、家屋全半壊 29 戸、浸水 3,707 戸、真締川堤防 3 か所決壊、13 鉱完全水没、	(小野田市)死者 2 人、重傷者 1 人、家屋全半壊 44 戸、家屋流出 1 戸、床上浸水 179 戸、道路決壊 30 ヶ所、橋梁流出 4 箇所(山陽町)厚狭川決壊、死者 6 人、負傷者 5 人、家屋全半壊 19 戸、床上浸水 1,503 戸
H3.9.27	台風第 19 号は、中心気圧 945hpa、最大風速 45m/s の大型台風で、大きな被害をもたらした。	死者 1 人(太陽熱温水器落下による)、重傷者 3 人、軽傷者 8 人、家屋半壊 41 戸	(小野田市)負傷者 7 人、家屋全壊 1 戸、家屋半壊 10 戸、床上浸水 1 戸 (山陽町)家屋全壊 2 戸、家屋半壊 1 戸、床上浸水 11 戸、床下浸水 23 戸
H11.9.24	台風第 18 号は、中心気圧 950hpa、最大風速 45m/s の大型台風で竜巻、高潮による大きな被害をもたらした。	重傷者 4 人、軽傷者 7 人、家屋全壊 13 戸、家屋半壊 536 戸、床上浸水 241 戸、床下浸水 3,408 戸	(小野田市)重傷者 12 人、軽傷者 70 人、家屋全壊 17 戸、家屋半壊 118 戸、西部石油沖護岸決壊、床上浸水 83 戸 (山陽町)負傷者 5 人、住宅全壊 32 世帯、半壊 421 世帯、非住居の被害 215 戸、救出者 21 人
H21.7.21 ~7.26	梅雨前線に伴う集中豪雨(平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨)のため、河川の氾濫等により多くの被害をもたらした。	家屋半壊 4 戸、床上浸水 42 戸、床下浸水 20 戸	床上浸水 44 戸、床下浸水 221 戸、救助出動 9 件、救助人員 49 人
H22.7.15	梅雨前線の停滞に伴う集中豪雨による厚狭川等の氾濫のため、山陽地区において多くの被害をもたらした。	家屋半壊 1 戸、家屋一部損壊 8 戸、床上浸水 2 戸、床下浸水 60 戸	家屋半壊 8 戸、床上浸水 446 戸、床下浸水 351 戸、救助人員 92 人(宇部・光・岩国消防応援隊救出を含む)

7 応援協定等締結状況

協定の名称		締結先機関	締結年月日	
1	山口県内広域消防相互応援協定書	山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1	
2	中国自動車及び山陽自動車道における消防相互応援協定書	下関市・美祢市・山陽小野田市・宇部市 山口市・防府市・周南市・下松市・光市 光地区消防組合・岩国市・岩国地区消防組合	H24. 4. 1	
3	県道山口宇部線における消防相互応援協定書	山口市・宇部市	H24. 3. 28	
4	石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定書	岩国地区消防組合・下松市・周南市・下関市	H24. 4. 1	
5	「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定書	下関市・山口市・萩市・防府市・下松市・長門市 周南市・柳井地区広域消防組合・美祢市 光地区消防組合・岩国地区消防組合	H24. 4. 1	
6	山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県・山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1	
7	船舶消火に関する業務協定	宇部海上保安署	H24. 4. 1	
8	山口宇部空港及びその周辺における消火救援活動に関する協定	山口宇部空港	H24. 4. 1	
9	ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ	都市ガス	山口合同ガス(株)宇部支店	H26. 4. 1
		LPガス	山口県LPガス協会宇部小野田支部	H24. 4. 1
			山口県LPガス協会厚狭支部	H24. 4. 1
10	救急車医師同乗システムに関する協定書	国立大学法人山口大学	H24. 4. 1	
11	気管挿管実習に係る協定書	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
12	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
		医療法人社団宇部興産中央病院	H26. 10. 1	
		山口労災病院	H24. 4. 1	
13	エボラ出血熱患者の移送に関する協定書	山口県宇部環境保健所	H27. 6. 5	
14	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山陽小野田市民病院	H30. 2. 9	
15	消防用設備等点検報告の情報提供に係る協定書	一般財団法人山口県宅建協会宇部支部 公益社団法人全日本不動産協会山口県本部	R3. 8. 2	

総務

安全衛生委員会



安全衛生委員会は毎年開催し、職員の健康管理に大きな役割を担っています。

公務災害の発生を防ぐ取組みとして、事故につながりかねないヒヤリハット事例についての発生状況や原因を分析し、職場環境の検証や作業方法などの点検、見直しを行い、再発防止に努めるために開催しました。

採用ガイダンス開催

本消防組合採用試験の受験予定者等に消防業務への理解を深めてもらい、多くの方に受験していただくことを目的として、採用ガイダンスを開催しています。

令和4年度は、本消防組合の説明、施設見学（小野田消防署）や出動時の防火衣装着、消防隊・救助隊・救急隊の訓練等を見学していただきました。

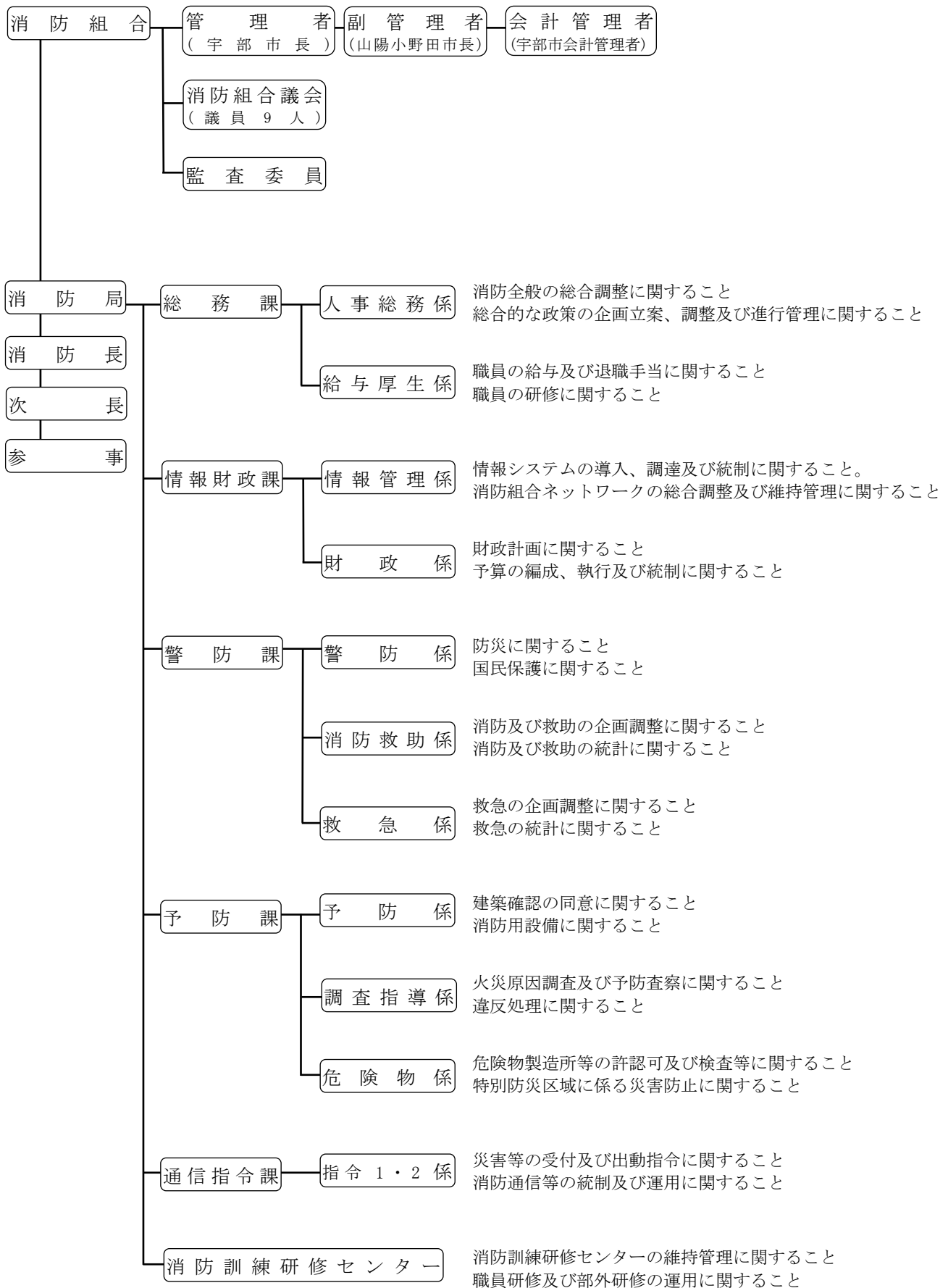


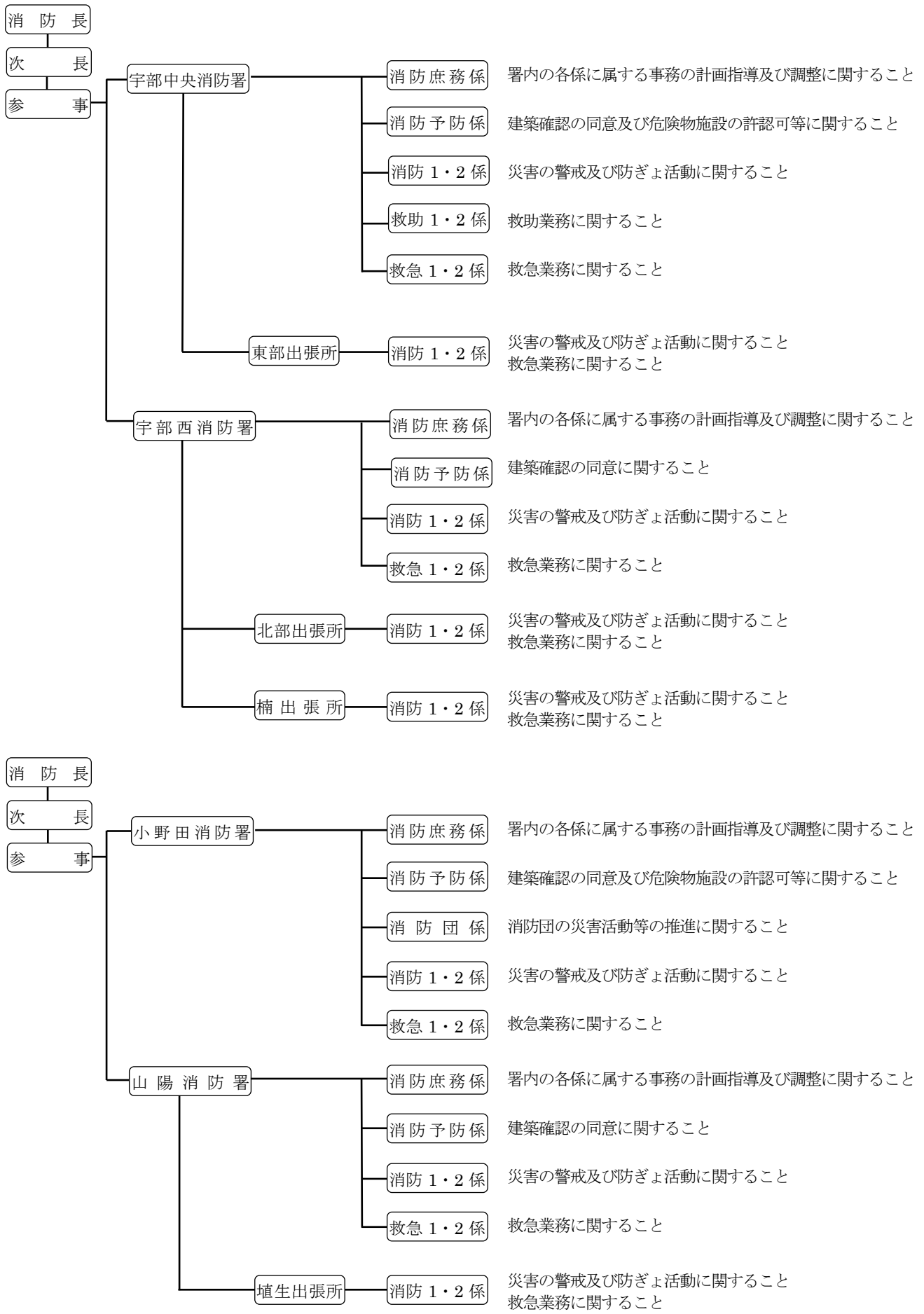
1年間の主な行事

- 6月第2週……………危険物安全週間
- 8月30日～9月5日……………防災週間
- 9月1日……………防災の日
- 9月9日……………救急の日
- 11月9日……………119番の日
- 11月9日～11月15日……………秋季火災予防運動
- 1月15日～1月21日……………防災とボランティア週間
- 1月17日……………防災とボランティアの日
- 1月26日……………文化財防火デー
- 3月1日～3月7日……………春季火災予防運動
- 3月7日……………消防記念日

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務

令和5年4月1日現在





2 消防局・消防署職員配置表

令和5年4月1日現在 [単位：人]

勤務別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
定 員			350									
実 員			315(9) (6) 【3】	【1】	3 【1】	8	23	82(2) 【1】	96(2) ((6))	35(2)	68(3)	
消 防 局	消 防 長		【1】	【1】								
	次 長		1		1							
	参 事		2 【1】		2 【1】							
	総 務 課	課 長		1			1					
		副 課 長		1				1				
		人事総務係		2(1)					1(1)	1		
		給与厚生係		3(1)					1	2(1)		
		派遣職員他		17(1)					3	1		13(1)
	情 報 財 政 課	課 長		1			1					
		副 課 長		1				1				
		情報管理係		2					1	1		
		財 政 係		3					2	1		
	警 防 課	課 長		1			1					
		副 課 長		1				1				
		警 防 係		2					1	1		
		消防救助係		2					2			
		救 急 係		2(1) ((1))					1	((1))	1(1)	
	予 防 課	課 長		1			1					
		副 課 長		1				1				
		予 防 係		3					1		1	1
		調査指導係		2					1	1		
		危険物係		3					2		1	
	通 信 指 令 課	課 長		1			1					
		副 課 長		3				3				
		指令 1 係		6 ((1))					3	2 ((1))	1	
		指令 2 係		6 ((1))					2	3 ((1))	1	
小 計			68(4) (3) 【2】	【1】	3 【1】	5	7	21(1)	13(1) ((3))	5(1)	14(1)	

() ~うち女性消防吏員数

(()) ~再任用職員数 (実員数に含まない)

【 】 ~人事交流職員等の数 (実員数に含まない) [] ~事務取扱 (計上しない)

勤務別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
宇部中央消防署	署長				[1]						
	副署長	2				1	1				
	消防庶務係	1 ((1))					[1]		1 ((1))		
	消防予防係	4						2	2		
	警備司令	2				2					
	消防1係	15						4	3	3	5
	救助1係	5						2	3		
	救急1係	9						2	3	2	2
	消防2係	15						3	5	1	6
	救助2係	5						2	2	1	
	救急2係	9(1)						2	3	2	2(1)
	東部出張所長	1					1				
	東部消防1係	10						3	2	2	3
	東部消防2係	9					[1]	2	3	3	1
	小計	87(1) (1)				1	4	22	27 ((1))	14	19(1)
宇部西消防署	署長	1			1						
	副署長	1					1				
	消防庶務係	1 ((1))						1	((1))		
	消防予防係	2						2			
	警備司令	2				2					
	消防1係	11						3	3		5
	救急1係	4						2	1	1	
	消防2係	11						2	5		4
	救急2係	4						1	2	1	
	北部出張所長	1					1				
	北部消防1係	7					[1]	1	4	1	1
	北部消防2係	8						2	4	1	1
	楠出張所長	1					1				
	楠消防1係	8						3	3	1	1
	楠消防2係	7					[1]	2	3	1	1
小計	69 ((1))				1	5	19	25 ((1))	6	13	

() ~うち女性消防吏員数 (()) ~再任用職員数 (実員数に含まない)

【 】 ~人事交流職員等の数 (実員数に含まない) [] ~事務取扱 (計上しない)

勤務別		階級								
		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
小野田消防署	署長			[1]						
	副署長	1				1				
	消防庶務係	((1) 【1】)					【1】	((1))		
	消防予防係	5(1)					1	3		1(1)
	消防団係	2					1	1		
	警備司令	2				2				
	消防1係	14(1)					2	7(1)	1	4
	救急1係	5					2	1	1	1
	消防2係	14					2	6	1	5
	救急2係	5(1)					2(1)	1		2
	小計	48(3) ((1) 【1】)				3	10(1) 【1】	19(1) ((1))	3	13(1)
山陽消防署	署長	1			1					
	副署長 ※埴生出張所長兼務	※1				※1				
	消防庶務係	1					1			
	消防予防係	2				1		1		
	警備司令	2				2				
	消防1係	7					2	2		3
	救急1係	5					1	2	2	
	消防2係	7					2	1	1	3
	救急2係	5(1)					2	1	2(1)	
	埴生出張所長	※1				※1				
	埴生消防1係	6					1	2	2	1
	埴生消防2係	6					1	3		2
小計	43(1)				1	4	10	12	7(1)	9

() ~うち女性消防吏員数

(()) ~再任用職員数 (実員数に含まない)

【 】 ~人事交流職員等の数 (実員数に含まない) [] ~事務取扱 (計上しない)

3 消防吏員階級別年齢

令和5年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
20歳未満								8	8
20歳以上25歳未満								44(2)	44(2)
25歳以上30歳未満						6	22(2)	13(1)	41(3)
30歳以上35歳未満						36(2)	12	3	51(2)
35歳以上40歳未満					2	23	1		26
40歳以上45歳未満					13(1)	13			26(1)
45歳以上50歳未満					35(1)	7			42(1)
50歳以上55歳未満			2	14	28	6			50
55歳以上		3	6	9	4	5((6))			27((6))
合計		3	8	23	82(2)	96(2)((6))	35(2)	68(3)	315(9)((6))
平均(歳)		58.7	56.9	54.0	48.3	37.6	29.0	23.3	38.2
人事交流職員等	1	1			1				3

()～うち女性消防吏員数 (())～再任用職員数(合計に含まない)

※ 平均(歳)について再任用職員は含まない

4 消防吏員階級別勤続年数

令和5年4月1日現在 [単位：人]

勤 続 年 数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
5年未満							8(1)	62(3)	70(4)
5年以上10年未満						21(1)	22(1)	6	49(2)
10年以上15年未満						33(1)	5		38(1)
15年以上20年未満					7	19			26
20年以上25年未満					16(2)	5			21(2)
25年以上30年未満			2	7	37	9			55
30年以上35年未満		1		10	20	5			36
35年以上		2	6	6	2	4			20
再任用職員						((6))			((6))
合計		3	8	23	82(2)	96(2)((6))	35(2)	68(3)	315(9)((6))
平均(年)		35.3	35.9	32.1	26.6	15.9	7.03	2.03	16.6
人事交流職員等	1	1			1				3

()～うち女性消防吏員数 (())～再任用職員数(合計に含まない)

※ 平均(年)について再任用職員は含まない

5 職員研修状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

[単位：人]

研修学科等		受講者数	
消防大学校	専科教育 危険物科	1	
山口県消防学校	初任総合教育	16	
	専科教育	予防査察科	2
		火災調査科	2
		救助科	2
	特別教育	水難救助科	2
		消防団指導科	1
その他の教育	大規模災害対策科	1	
広島県消防学校	専科教育 救急科	1	
救急救命研修所	救急救命士新規養成課程研修	2	
	指導救命士養成研修	2	
山口県ひとつづくり財団	窓口応接講座	1	
	メンタルマネジメント講座	1	
	災害対応講座	1	
	プレゼンテーションセミナー	1	
	女性職員キャリアデザイン講座	1	
	契約事務講座	1	
	クレーム対応力向上講座	1	
	アサーティブ・コミュニケーション講座	1	
その他	安全衛生研修会	3	
	消防法令違反是正事例発表会	1	
	消防実務講習会	4	
	企業防災対策指導者研修会	3	
	消防法令違反是正事例研究会	3	
	火薬類担当者研修	3	
	KHK屋外タンク実務担当者研修	3	
	火薬類取締事務担当職員研修	1	

6 特殊技能・技術資格者

令和5年4月1日現在

[単位：人]

[単位：人]

種別		人数	
自動車免許	大型	11t以上	189
	中型	8t未満	15
		11t未満	65
	準中型	5t未満	6
		7.5t未満	3
	普通	3.5t未満	43
予防	予防技術検定（消防用設備）		46
	予防技術検定（危険物）		43
	予防技術検定（防火査察）		132
通信指令	特殊無線技士（2級）		159
	特殊無線技士（3級）		148
警防・救助	小型船舶操縦士		55
	潜水土		138
	小型移動式クレーン運転技能講習		139
	玉掛技能講習		134
	足場組立等作業主任者講習・特別教育		33
	酸素欠乏技能講習		14
	酸素欠乏・硫化水素技能講習・特別教育		43
	ガス溶接技能講習		67
	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育		290
チェーンソーによる伐木等特別教育		12	

種別		人数	
救急	救急救命士		63
	指導救命士		7
	救急科（標準課程・II課程含む）		264
その他	整備管理者		9
	衛生管理者		11

情報財政

消防局・宇部中央消防署



宇部中央消防署東部出張所



宇部西消防署



宇部西消防署北部出張所



宇部西消防署楠出張所



小野田消防署



山陽消防署



山陽消防署埴生出張所



目で見る主要施策



宇部中央消防署仮眠室改修



消防局書庫改修

1 消防予算(令和5年度当初予算)

(1) 歳入

[単位：千円]

款	令和5年度予算額	令和4年度予算額	比較
分担金及び負担金	2,971,029	2,961,641	9,388
使用料及び手数料	19,303	34,780	△15,477
県支出金	101,090	13,340	87,750
財産収入	50	0	50
繰越金	1,000	1,000	0
諸収入	5,286	4,200	1,086
組合債	144,500	59,400	85,100
歳入合計	3,242,258	3,074,361	167,897

(2) 歳出

[単位：千円]

款	令和5年度 予算額	令和4年度 予算額	比較	令和5年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
議会費	354	354	0				354
総務費	26,188	16,067	10,121			628	25,560
消防費	3,085,512	2,850,006	235,506	101,090	144,500	40,197	2,799,725
公債費	126,204	203,934	△77,730				126,204
予備費	4,000	4,000	0				4,000
歳出合計	3,242,258	3,074,361	167,897	101,090	144,500	40,825	2,955,843

(3) 分担金の内訳

[単位：千円]

区分 構成市	構成市 当初予算額(A)	構成市 分担金(B)	比率 (%) B/A×100	分担金の内訳	
				分担金	特別分担金
宇部市	69,940,000	1,952,099	2.79	1,795,461	156,638
山陽小野田市	31,463,000	1,001,056	3.18	908,013	93,043
合計	101,403,000	2,953,155	2.91	2,703,474	249,681

(4) 消防組合予算と管内人口・世帯数との割合

令和5年4月1日現在

消防組合予算	1人当たりの 消防組合予算	1世帯当たりの 消防組合予算	人口/世帯数
3,242,258,000円	14,778円	29,786円	219,405人
			108,852世帯

(5) 現有消防力と面積・人口・世帯の割合

令和5年4月1日現在

消防吏員1人に対して			消防署数に対して			常備消防ポンプ自動車 1台に対して			救急自動車1台に対して		
面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (戸)	面積	人口	世帯数	面積	人口	世帯数	面積	人口	世帯数
1.3	683.5	339.1	104.9	54,851.3	27,213.0	24.7	12,906.2	6,403.1	35.0	18,283.8	9,071.0
321人			4署			17台			12台		

8 消防庁舎

令和5年4月1日現在

(1) 宇部・山陽小野田消防局，宇部中央消防署

所在地：宇部市港町二丁目3番30号

敷地面積：3,297.84 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造3階建	2,720.68 m ²	H1年1月
訓練塔	鉄筋コンクリート造6階建	264.00 m ²	H1年1月
車庫・点検場	鉄骨造平屋建（泡原液貯蔵タンク6kl）	231.00 m ²	H1年1月
自転車置場	鉄骨造平屋建	25.60 m ²	H1年1月

(2) 小野田消防署（消防訓練研修センター）

所在地：山陽小野田市高栄一丁目6番1号

敷地面積：11,415.85 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造2階建	2,397.30 m ²	H11年3月
電気室棟	コンクリートブロック造平屋建	64.48 m ²	H11年3月
車庫倉庫棟	コンクリートブロック造平屋建	286.83 m ²	H11年3月
駐輪場	鉄骨造平屋建	21.72 m ²	H11年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造5階建（補助塔3階）	342.13 m ²	H12年1月
消火薬剤タンク	鉄骨造（タンクSUS製20kl）	58.36 m ²	H12年3月
消火薬剤倉庫	鉄骨造平屋建	63.90 m ²	H12年3月

(3) 宇部西消防署

所在地：宇部市厚南中央五丁目6番22号

敷地面積：1,974.44 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	684.57 m ²	S53年4月
倉庫棟	ブロック造平屋建	54.92 m ²	S53年4月
自転車置場	鉄骨造平屋建	6.00 m ²	S53年4月
車庫棟	鉄骨造平屋建	102.13 m ²	H16年3月

(4) 山陽消防署

所在地：山陽小野田市大字厚狭487番地9

敷地面積：4,542.94 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	1,290.71 m ²	H25年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造3階建	105.00 m ²	H25年3月
倉庫棟	鉄筋コンクリート造3階建	90.00 m ²	H25年3月
自転車置場	鉄骨造平屋建	15.00 m ²	H25年3月

(5) 宇部中央消防署東部出張所

所在地：宇部市大字西岐波761番地1

敷地面積：1,187.03 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	430.86 m ²	S55年4月
倉庫・自転車置場棟	ブロック造平屋建	30.00 m ²	S55年4月

(6) 宇部西消防署北部出張所

所在地：宇部市大字荒瀬11051番地

敷地面積：1,500.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	520.65 m ²	H7年4月

(7) 宇部西消防署楠出張所

所在地：宇部市大字船木461番地1

敷地面積：3,215.19 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	635.24 m ²	H30年3月
訓練棟	鉄筋コンクリート造2階建	26.15 m ²	H30年3月
駐輪場	鉄骨造平屋建	14.70 m ²	H30年3月

(8) 山陽消防署埴生出張所

所在地：山陽小野田市大字埴生3229番地12

敷地面積：853.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	243.55 m ²	S56年4月

予 防



幼年消防交流会

山陽小野田市の幼年消防クラブ員が消防訓練研修センターに集い消防の仕事や火災予防を学びました。庁舎見学、消防車両見学、乗車体験、煙体験を通して、火災予防などについて楽しく学習することができました。

第36回消防展の開催

「火災予防運動期間中に多くの買い物客が集まる大型商業施設で、火災予防広報及び火災予防作品の展示などを行うことにより、地域住民の防火意識の高揚、火災予防思想の普及、啓発を図ること」を目的として、3月1日（水曜日）～3月7日（火曜日）におのだサンパークで「第36回消防展」を開催しました。



全国統一防火標語

(過去10年間)

2023年度	火を消して 不安を消して つなぐ未来
2022年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心
2021年度	おうち時間 家族で点検 火の始末
2020年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
2019年度	ひとつずつ いいね!で確認 火の用心
平成30年度	忘れてない? サイフにスマホに火の確認
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあただよ

危険物安全週間(毎年6月の第2週)推進標語

(過去10年間)

令和5年度	意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ
令和4年度	一連の確かな所作で無災害
令和3年度	事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム
令和2年度	訓練で 確かな信頼 積み重ね
平成31年度	無事故への 構え一分の 隙も無く
平成30年度	この一球届け無事故へみんなの願い
平成29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる!
平成28年度	危険物 決めろ無事故の ストライク
平成27年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい
平成26年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害

1 防火対象物

(1) 棟数及び立入検査

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

防火対象物用途区分			防火対象物数 [単位：棟]			立入検査回数 [単位：件]
			令和5年4月1日現在			
			宇 部 市	山陽小野田市	合 計	
1	イ	劇場・映画館	3	6	9	8
	ロ	公会堂・集会場	42	24	66	19
2	イ	キャバレー・カフェー				
	ロ	遊技場・ダンスホール	19	4	23	6
	ハ	性風俗施設等				
	ニ	カラオケボックス等	5		5	
3	イ	待合・料理店	1	5	6	5
	ロ	飲食店	144	35	179	92
4		百貨店・マーケット	263	93	356	138
5	イ	旅館・ホテル	28	14	42	95
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,127	566	2,693	341
6	イ	病院・診療所等	180	53	233	80
	ロ	老人短期入所施設等	98	37	135	56
	ハ	老人デイサービスセンター等	173	52	225	80
	ニ	幼稚園・特別支援学校	33	8	41	13
7		小中高大学及び各種学校	280	94	374	75
8		図書館・博物館	6	2	8	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場				
	ロ	公衆浴場	3	1	4	4
10		駅舎・空港	3	4	7	6
11		神社・寺院・教会	123	45	168	37
12	イ	工場・作業場	969	417	1,386	362
	ロ	映画スタジオ	1		1	
13	イ	自動車車庫	86	32	118	29
	ロ	飛行機等の格納庫	2		2	
14		倉庫	834	321	1,155	345
15		前各号に該当しない事業所	689	302	991	257
16	イ	特定用途を含む複合対象物	331	87	418	140
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	235	48	283	63
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		文化財保護法にいう建物	1	1	2	
18		延長50m以上のアーケード	4		4	
19		市長村長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			6,683	2,251	8,934	2,254

(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況

令和5年4月1日現在

[単位：箇所]

防火対象物用途区分			定期点検対象物				防災管理対象物			
			対象物数		特例認定適合対象物数		対象物数		特例認定適合対象物数	
			宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市
1	イ	劇場・映画館	1	5						
	ロ	公会堂・集会場	26	15	2					
2	イ	キャバレー・カフェ								
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	3	2	1				
	ハ	性風俗施設等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	5							
4		百貨店・マーケット	50	17	1					
5	イ	旅館・ホテル	3	4	1					
	ロ	寄宿舎・共同住宅								
6	イ	病院・診療所等	7	3			1			
	ロ	老人短期入所施設等	3	1						
	ハ	老人デイサービスセンター等								
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3		1					
7		小中高大学及び各種学校					1	1		
8		図書館・博物館								
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		駅舎・空港								
11		神社・寺院・教会								
12	イ	工場・作業場					4	7		
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫								
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫								
15		前各号に該当しない事業所								
16	イ	特定用途を含む複合対象物	38	10	7	2	6	1	1	
	ロ	特定用途を含まない複合対象物					4	1		
16の2		地下街								
17		文化財保護法にいう建物								
合 計			144	58	14	3	15	11	1	

2 建築確認同意処理件数

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

[単位：件]

防火対象物別			区分	宇 部 市				山陽小野田市				総計
				新築	増築	その他	合計	新築	増築	その他	合計	
1	イ	劇場・映画館										
	ロ	公会堂・集会場										
2	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	性風俗施設等										
	ニ	カラオケボックス等										
3	イ	待合・料理店										
	ロ	飲食店	2		1	3						3
4		百貨店・マーケット	6	1	3	10						10
5	イ	旅館・ホテル										
	ロ	寄宿舎・共同住宅	20		1	21	3			3		24
6	イ	病院・診療所等	7	1		8		1		1		9
	ロ	老人短期入所施設等	4			4	1			1		5
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	1	1	5	1			1		6
	ニ	幼稚園・特別支援学校	2	1		3						3
7		小中高大学及び各種学校					2			2		2
8		図書館・博物館										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場										
	ロ	公衆浴場										
10		駅舎・空港										
11		神社・寺院・教会	2	1		3						3
12	イ	工場・作業場	5	6	3	14	6			6		20
	ロ	映画スタジオ										
13	イ	自動車車庫	13	1		14	1	1		2		16
	ロ	飛行機等の格納庫										
14		倉庫	24	4	4	32	7	1		8		40
15		前各号に該当しない事業所	31	4		35	16			16		51
16	イ	特定用途を含む複合対象物	5			5	1			1		6
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	1			1	3	2		5		6
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		文化財保護法にいう建物										
18		延長50m以上のアーケード										
19		市町村長の指定する山林										
20		総務省令で定める舟車										
住 宅			67		2	69	27			27		96
危 険 物 施 設			2	1		3	5			5		8
そ の 他							2	1		3		3
合 計			194	21	15	230	75	6		81		311

3 防火管理者選任状況

令和5年4月1日現在
[単位：箇所]

防火対象物区分			法第8条該当防火対象物数			防火管理者届出済対象物数		
			宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市	合計
1	イ	劇場・映画館	1	5	6	1	5	6
	ロ	公会堂・集会場	35	18	53	34	18	52
2	イ	キャバレー・カフェー						
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	3	13	10	3	13
	ハ	性風俗施設等						
	ニ	カラオケボックス等	5		5	5		5
3	イ	待合・料理店		3	3		3	3
	ロ	飲食店	141	31	172	129	31	160
4		百貨店・マーケット	208	73	281	201	73	274
5	イ	旅館・ホテル	20	12	32	20	12	32
	ロ	寄宿舎・共同住宅	152	49	201	138	45	183
6	イ	病院・診療所等	37	16	53	35	16	51
	ロ	老人短期入所施設等	58	32	90	56	31	87
	ハ	老人デイサービスセンター等	68	30	98	68	30	98
	ニ	幼稚園・特別支援学校	17	7	24	17	7	24
7		小中高大学及び各種学校	31	23	54	31	23	54
8		図書館・博物館	4	2	6	4	2	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場		1	1		1	1
10		駅舎・空港						
11		神社・寺院・教会	74	27	101	71	27	98
12	イ	工場・作業場	20	39	59	19	39	58
	ロ	映画スタジオ						
13	イ	自動車車庫	2		2	2		2
	ロ	飛行機等の格納庫						
14		倉庫	3		3	1		1
15		前各号に該当しない事業所	89	44	133	85	44	129
16	イ	特定用途を含む複合対象物	232	50	282	207	50	257
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	154	17	171	145	17	162
16の2		地下街						
17		文化財保護法にいう建物		1	1		1	1
合計			1,361	483	1,844	1,279	478	1,757

4 危険物施設設置状況

令和5年3月31日現在

[単位：箇所]

区 分		宇 部 市	山陽小野田市	施設別合計
製 造 所		28	37	65
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	100	97	197
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	224	276	500
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2	1	3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	64	34	98
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	92	92	184
	屋 外 貯 蔵 所	20	23	43
取 扱 所	給 油 取 扱 所	68	37	105
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3		3
	第 2 種 販 売 取 扱 所			0
	一 般 取 扱 所	187	101	288
	移 送 取 扱 所	2	2	4
構 成 市 別 合 計		790	700	1,490

5 危険物許認可状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

[単位：件]

区 分		設置許可	変更許可	仮使用	設置完成	変更完成	廃止
製 造 所		1	54	42	1	46	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	3	9	5	5	5	2
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	9	60	34	4	59	1
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所						
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	5	6	2	4	3	1
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所						
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	3	25		4	26	
	屋 外 貯 蔵 所	3			3		
小 計		23	100	41	20	93	4
取 扱 所	給 油 取 扱 所		12	11	1	11	
	第 1 種 販 売 取 扱 所						
	第 2 種 販 売 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所	7	73	70	7	65	3
	移 送 取 扱 所		4	2		4	
小 計		7	89	83	8	80	3
合 計		31	243	166	29	219	8

[単位：件]

完成検査前検査	水 張 水 圧 検 査	21
	基 礎 地 盤 検 査	0
	溶 接 部 検 査	4
仮貯蔵・仮取扱		24
水張水圧検査 (条例)		0

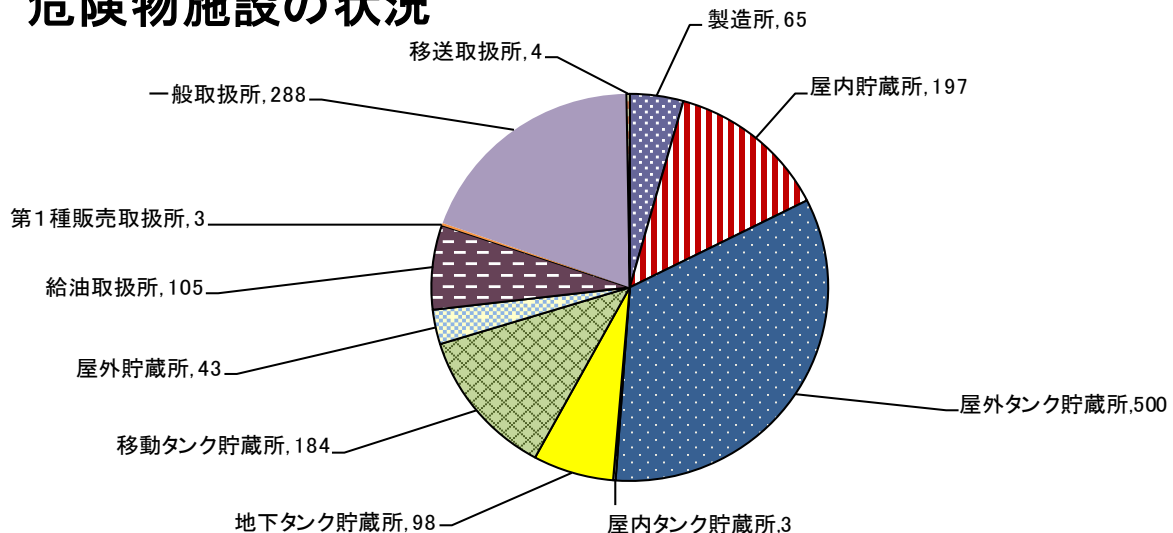
6 危険物施設の現況及び立入検査状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

[単位：件]

区 分		類別 (令和5年3月31日現在)							立 入 検査数	
		1類	2類	3類	4類	5類	6類	混在		計
製 造 所		2	2		30		1	30	65	
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	9	1	5	146	9		27	197	45
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		6		474	2	18		500	69
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所				3				3	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				98				98	19
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								0	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所				174		10		184	162
	屋 外 貯 蔵 所		1		42				43	9
取 扱 所	給 油 取 扱 所				105				105	67
	第 1 種 販 売 取 扱 所				3				3	
	第 2 種 販 売 取 扱 所								0	
	一 般 取 扱 所	1	3		262		5	17	288	54
	移 送 取 扱 所				3		1		4	
合 計		12	13	5	1,340	11	35	74	1,490	425

危険物施設の状況



7 宇部・小野田地区特別防災区域

令和5年4月1日現在

(1) 宇部市

東側は、宇部市大字沖宇部字沖ノ山、テクノUMG(株)宇部事業所敷地から、西側は厚東川河口の大字西沖ノ山字西沖、宇部市と山陽小野田市の市境までの埋立臨海工業地帯で周防灘に面し、指定区域の総面積は6,659,769平方メートルで、その状況は別図のとおりである。

区域の名称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市名	宇部市			
市の面積	286.65 km ²			
市の人口	159,608人 (世帯数: 79,939世帯)			
様態	化学工場、火力発電、その他			
地区	面積 m ²	種別及び事業所名		
		第1種事業所	第2種事業所	その他の事業所
東見初町及び大字沖宇部字沖ノ山	1,153,795	◇セントラル硝子(株)宇部工場 (セントラル化成(株)宇部工場)	◇テクノUMG(株)宇部事業所	◇宇部吉野石膏(株) ◇(株)東商セントラル ◇セントラル硝子(株)機能化学研究所 ◇セントラルエンジニアリング(株) ◇セントラル硝子(株)化成品生産技術センター ◇宇部市東部浄化センター ◇宇部市環境保全センター
大字小串字沖ノ山	2,422,225	◇UBE(株)宇部ケミカル工場東西地区 (宇部マクセル(株)) (宇部エムス(有)) (UBE三菱セメント(株)216MW発電設備)	◇UBE三菱セメント(株)宇部セメント工場 ◇日興石油(株)沖の山油槽所 ◇チタン工業(株)宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株)宇部工場第1工場	◇UBE三菱セメント(株)研究所 ◇UBE(株)研究開発本部宇部研究所 ◇UBE(株)パフォームスホ [®] リマー&ケミカルズ事業部ケミカル開発部 ◇UBE三菱セメント(株)環境エネルギー事業部石炭部 宇部コールセンター ◇(株)宇部スチール ◇UBEマシナリー(株) ◇UBE(株)生産・技術本部宇部電子工業部材工場 ◇エムシー・ファーティコム(株)宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株)宇部工場第2工場
大字藤曲字昭和開作	776,986	◇UBE(株)宇部ケミカル工場藤曲地区	◇EJホールディングス(株)宇部事業所 ◇UBE過酸化水素(株)宇部工場	◇協和キリン(株)宇部工場
大字西沖ノ山字西沖	2,306,763	◇太陽石油(株)山口事業所(UBE三菱セメント(株)西沖の山石灰石センター) (UBE(株)西沖倉庫)		◇UBE三菱セメント(株)宇部セメント工場 特大車西沖給油所
合計	6,659,769	4	7	18

(2) 山陽小野田市

宇部・小野田地区における山陽小野田市に係る部分は山陽小野田市南東端に位置し、本山岬の東岸沿いの丘状地と海面を埋立てた干拓地からなる。東側は宇部市との境界上に位置する、太陽石油(株)山口事業所から西側は、西部石油(株)山口製油所の本山岬丘状地頂上までとなり、北側は県道妻崎開作小野田線に接し、南側は防潮堤を境に瀬戸内海(宇部港)に面している。総面積は2,615,443平方メートルでその状況は別図のとおりである。

区域の名称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市名	山陽小野田市			
市の面積	133.09 km ²			
市の人口	59,797人 (世帯数：28,913世帯)			
様態	石油精製、石油化学			
地区	面積 m ²	種別及び事業所名		
		第1種事業所	第2種事業所	その他の事業所
大字西沖字西沖 // 字西沖の2 // 字西沖の3 大字小野田 // 字一の北山 // 字二の北山 // 字東一の大泊 // 字東二の大泊 // 字東田の尻 // 字東高尾 // 字焼山 // 字向ヶ原 // 字松山 // 字泉ヶ浴 // 字狐崎 // 字高尾 // 字西高尾 // 字石干見 // 字一の石干見 // 字二の石干見 // 字繁開作 // 字長沢二宮開作 // 字赤崎 // 字北山	1,930,019 685,424	◇西部石油(株)山口製油所 (エア・ウォーター炭酸(株) 山陽小野田工場) ◇太陽石油(株)山口事業所 (UBE三菱セメント(株) 西沖の山石灰石センター) (UBE(株)西沖倉庫)		
合計	2,615,443	2		

宇部・小野田地区特別防災区域(概要図)

令和5年4月1日現在



8 火薬類取締法関係処理状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

[単位：件]

区 分 市 別	許 可						
	製造営業	販売営業	譲渡	譲受	消費	廃棄	火薬庫 設置・変更
宇 部 市			1	5	6		
山 陽 小 野 田 市				5	9	2	
合 計			1	10	15	2	

9 消防協力団体の現況

(1) 宇部・山陽小野田防災協会

ア 目 的

この協会は、消防法に定める危険物関係施設及び一般防火対象物の火災予防に関する法令等の周知徹底と防火思想の普及高揚に努めるとともに、会員相互の連絡と親睦を図り、もって各種災害の未然防止及び災害が発生した場合の被害の軽減に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) 消防関係法令の周知徹底並びに消防機関との連絡協調に関すること。
- (イ) 消防関係法令に基づいて消防機関へ提出する申請書、届出書等の斡旋、配布に関すること。
- (ウ) 防火管理者、危険物取扱者並びに消防設備士の研修及び講習会の開催に関すること。
- (エ) 火災予防のために必要な対策の研究及び調査に関すること。
- (オ) 火災予防の広報及び刊行物の発行、斡旋に関すること。
- (カ) 危険物に起因する災害が発生した場合の化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (キ) この協会の目的達成に功績のあった団体及び個人の表彰に関すること。
- (ク) 少年消防クラブ等の自主防災活動の助成に関すること。
- (ケ) 救急思想の普及及び啓発活動に関すること。
- (コ) その他、この協会の目的達成上必要と認める事業。

ウ 会 員（令和5年4月1日現在）

526 事業所

エ 事 務 局

宇部・山陽小野田消防局（予防課）

(2) 宇部・山陽小野田防火委員会

ア 目 的

本会は、宇部市及び山陽小野田市における幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブの運営指導について研究し、助言し、育成発展に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) クラブの情報の収集及び交換に関すること。
- (イ) クラブの運営指導の研究に関すること。
- (ウ) クラブの育成指導に関すること。
- (エ) 教養資料の編さん及び頒布に関すること。
- (オ) クラブ、クラブ員及びクラブ指導者の表彰に関すること。
- (カ) その他、本会の目的達成のため必要な事項に関すること。

ウ クラブ数

令和5年4月1日現在

区分	クラブ名称	結成年月	人数(人)
幼年消防クラブ	恩田幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年10月	64
	聖和幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年10月	58
	若蔦幼稚園幼年消防クラブ	昭和60年4月	0
	命信寺保育園幼年消防クラブ	昭和59年10月	30
	桃山保育園幼年消防クラブ	昭和59年10月	16
	原中央幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年2月	43
	小羽山幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年5月	11
	明光幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年3月	120
	船木幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年9月	4
	宇部さゆり幼稚園幼年消防クラブ	平成28年4月	14
	真珠幼稚園幼年消防クラブ	昭和58年9月	45
	石井手保育園幼年消防クラブ	昭和60年6月	23
	焼野保育園幼年消防クラブ	平成2年7月	20
	伸宏保育園幼年消防クラブ	平成5年8月	20
	さくら保育園幼年消防クラブ	平成6年8月	20
	須恵保育園幼年消防クラブ	平成6年10月	26
	日の出保育園幼年消防クラブ	平成8年9月	25
	西高泊保育園幼年消防クラブ	令和4年4月	15
ねたろう保育園幼年消防クラブ	令和4年4月	27	
少年消防クラブ	厚南地区少年消防クラブ	昭和55年4月	57
	恩田地区少年消防クラブ	昭和55年5月	8
	高千帆中学校少年消防クラブ	昭和26年9月	461
	小野田中学校少年消防クラブ	昭和26年9月	337
	竜王中学校少年消防クラブ	昭和26年9月	182
	厚狭中学校少年消防クラブ	昭和45年3月	356
	埴生中学校少年消防クラブ	昭和46年3月	87
	厚陽中学校少年消防クラブ	昭和47年6月	27
女性防火クラブ	新川女性防火クラブ	昭和55年6月	15
総計	28 団体		2,111

警 防



警防技術練成会

火災現場における安全に対する理解と認識を深め、「安全・確実・迅速」な消防活動の習得を図るとともに、指導職員の訓練指導能力及び安全管理能力の向上、並びに技術・知識を伝承することを目的とし練成会を実施しました。

救急技術練成会

医療機関と消防機関の円滑な連携を図るとともに、救急業務の高度化並びに救急に携わる消防職員の知識・技術を向上させることを目的として、宇部・山陽小野田・美祢・萩地域メディカルコントロール協議会が中心となり、本消防組合のほか、美祢市消防本部及び萩市消防本部も参加して、今年度も新型コロナウイルス感染症対策を考慮しつつ救急技術練成会を実施しました。



緊急消防援助隊

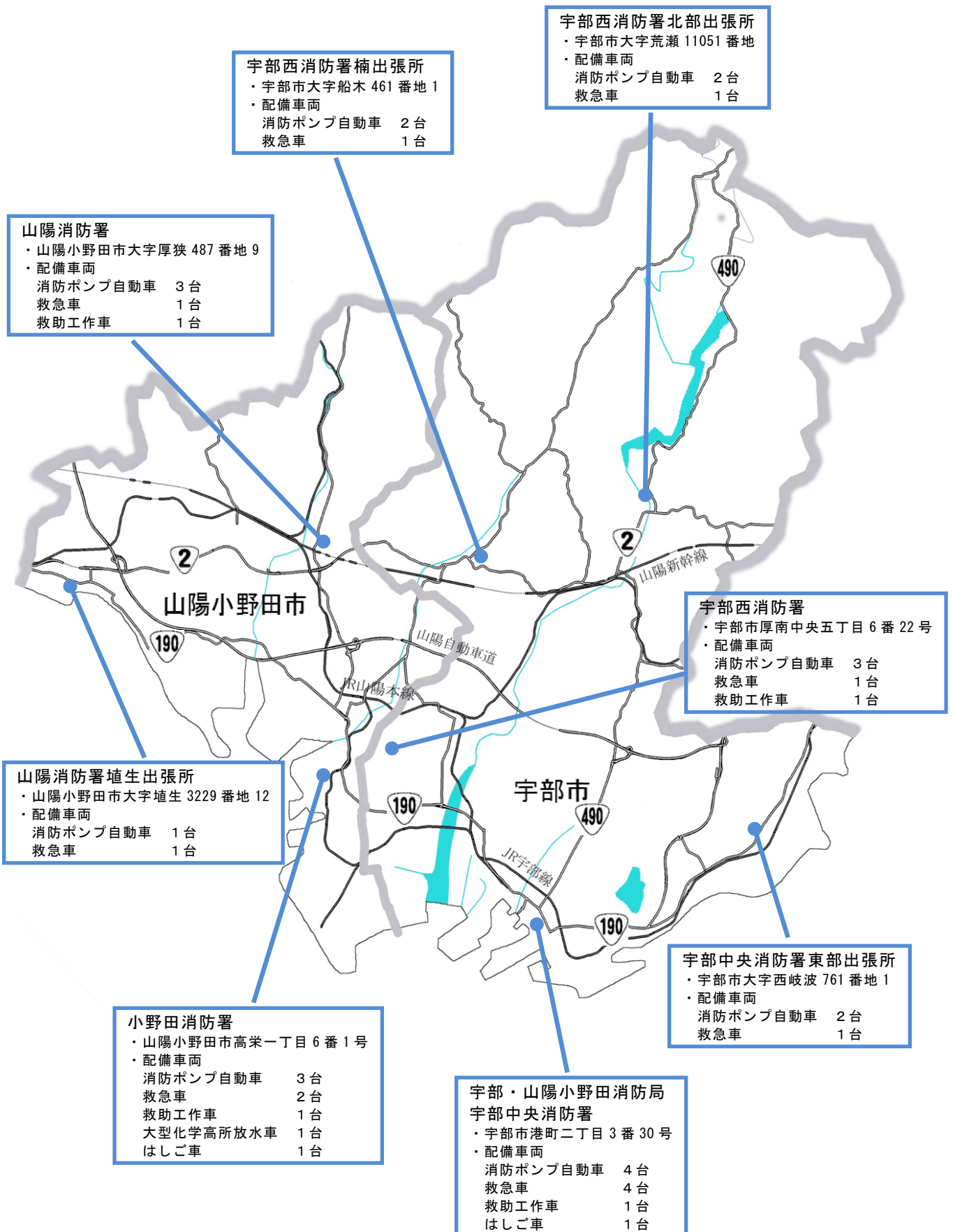
令和5年4月1日現在

		登録隊数	
		山口県全体	宇部・山陽小野田消防局
山口県大隊	県大隊指揮隊	3	1
	消火小隊	36	6
	救助小隊	8	2
	救急小隊	24	2
	後方支援小隊	17	2
	特殊災害小隊	5	0
	特殊装備小隊	9	1
合計	102 (108)	14	

※ () 重複

1 消防配置図

令和5年4月1日現在



2 消防車両

令和5年4月1日現在

所属	車両名称	種別	車 両 メーカ	導入年月	ポンプ級別等
消防局	本部 1	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	本部 2	支 援 車	マ ツ ダ	H20 年 2 月	
	本部 3	連 絡 車	ト ヨ タ	R 4 年 1 月	
	本部 4	支 援 車	三 菱	R2 年 1 月	
	本部 5	連 絡 車	ダイハツ	R2 年 7 月	
	本部 6	連 絡 車	ダイハツ	R2 年 9 月	
	本部 7	支 援 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	本部 9	支 援 車	ト ヨ タ	H30 年 12 月	
宇部中央消防署	中央指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	R3 年 3 月	
	中央はしご 1	はしご付消防自動車	日 野	H22 年 11 月	35m・先端屈折
	中央タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H26 年 12 月	A-2・II型
	中央ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H20 年 12 月	A-2・CD-II型
	中央ポンプ 2	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H30 年 2 月	A-2・CD-II型
	中央資材 1	資 器 材 搬 送 車	日 野	R4 年 2 月	水難・多目的
	中央資材 2	資 器 材 搬 送 車	い す ゞ	R2 年 2 月	2.6t クレーン付
	中央化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H24 年 3 月	A-2・II型
	中央救助 1	救 助 工 作 車	日 野	R3 年 3 月	III型
	中央充填 1	空 気 充 填 車	日 野	H15 年 2 月	
	中央救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H28 年 1 月	高規格
	中央救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H31 年 2 月	高規格
	中央救急 3	救 急 車	ト ヨ タ	H27 年 3 月	高規格
	西救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	高規格
	中央 1	広 報 車	ダイハツ	H27 年 12 月	
	中央 2	支 援 車	ト ヨ タ	H31 年 1 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカ	導入年月	ポンプ級別等
東部出張所 宇部中央消防署	東タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R2 年 2 月	A-2・II型
	東ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A-2・CD-II型
	東救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	R4 年 2 月	高規格
	東 1	広 報 車	ダイハツ	R3 年 2 月	
宇部西消防署	西指揮 1	指 揮 車	三 菱	H22 年 3 月	
	西タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H29 年 3 月	A-2・II型
	西ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H27 年 3 月	A-2・CD-II型
	西化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2・II型
	西救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 11 月	II型
	西救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H29 年 3 月	高規格
	西資材 1	資 器 材 搬 送 車	三 菱	H29 年 12 月	
	西 2	広 報 車	ス ズ キ	R5 年 2 月	
北部出張所 宇部西消防署	北タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H25 年 2 月	A-2・II型
	北ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A-2・CD-II型
	北救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	R5 年 2 月	高規格
	北 1	広 報 車	ダイハツ	H30 年 12 月	
楠出張所 宇部西消防署	楠タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 12 月	A-2・II型
	楠ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19 年 11 月	A-2・CD-II型
	楠救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 12 月	高規格
	楠 1	広 報 車	三 菱	H21 年 11 月	

所属	車両名称	種別	車両メーカー	導入年月	ポンプ級別等
小野田消防署	小野田指揮1	指揮車	トヨタ	H30年2月	
	小野田はしご1	はしご付消防自動車	日野	R3年3月	30m・先端屈折
	小野田タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H20年2月	A-2・II型
	小野田タンク2	水槽付消防ポンプ自動車	日野	R2年2月	A-2・II型
	小野田ポンプ1	消防ポンプ自動車	日野	H29年3月	A-2・CD-II型
	小野田水槽1	小型動力ポンプ付水槽車	いすゞ	R3年2月	B-2(小型動力ポンプ)・II型
	小野田資材1	資器材搬送車	いすゞ	H31年2月	2.6t クレーン付
	小野田大化高1	大型化学高所放水車	日野	H26年3月	A-1
	小野田原液1	泡原液搬送車	日野	H17年2月	ギヤ式ローター ポンプ・4000L
	小野田救助1	救助工作車	日野	H20年3月	II型
	小野田救急1	救急車	トヨタ	H31年3月	高規格
	小野田救急2	救急車	トヨタ	H28年3月	高規格
	小野田1	支援車	トヨタ	H20年12月	
	小野田2	人員輸送車	日野	R2年1月	
	小野田4	広報車	ダイハツ	H29年12月	

所属	車両名称	種別	車両メーカー	導入年月	ポンプ級別等
山陽消防署	山陽指揮1	指揮車	トヨタ	H17年2月	
	山陽タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H31年2月	A-2・II型
	山陽ポンプ1	消防ポンプ自動車	日野	H29年3月	A-2・CD-II型
	山陽資材1	資器材搬送車	トヨタ	R3年2月	
	山陽大化1	大型化学消防ポンプ自動車	日野	H21年3月	A-1・大I型
	山陽救助1	救助工作車	日野	H22年3月	II型
	山陽救急1	救急車	トヨタ	H27年3月	高規格
山陽出張所	埴生タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野	R3年2月	A-2・I-B型
	埴生救急1	救急車	トヨタ	H30年1月	高規格
	埴生1	広報車	ダイハツ	H27年12月	

3 消防水利

(1) 消火栓

令和5年4月1日現在 [単位:基]

公設私設別	市 別	宇 部 市	山陽小野田市
	公 設		2,039
私 設		181	53
合 計		2,220	1,402

(2) 防火水槽

() 耐震性貯水槽

令和5年4月1日現在 [単位:基]

容量別	市 別	宇 部 市		山陽小野田市	
		公 設	私 設	公 設	私 設
20 m ³ 以上 40 m ³ 未満		8 (0)	2 (0)	12 (0)	5 (0)
40 m ³ 以上 60 m ³ 未満		100 (15)	42 (14)	146 (1)	23 (4)
60 m ³ 以上 100 m ³ 未満		12 (10)	4 (0)	0 (0)	1 (0)
100 m ³ 以上		5 (4)	2 (0)	11 (10)	1 (0)
合 計		125 (29)	50 (14)	169 (11)	30 (4)

(3) その他

令和5年4月1日現在 [単位:箇所]

種別	市 別	宇 部 市	山陽小野田市
	プール・河川・溝・濠・池 海・湖・井戸・下水道等		104

4 化学消火剤備蓄状況

令和5年4月1日現在 [単位:リットル]

備蓄場所 種類	消防組合保有		防災協会保有	合 計
	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄		
たん白系3%型			400	400
フッ化たん白		19,840	15,800	35,640
合成界面活性剤	2,080		17,840	19,920
水成膜3%型	600		5,600	6,200
合 計	2,680	19,840	39,640	62,160

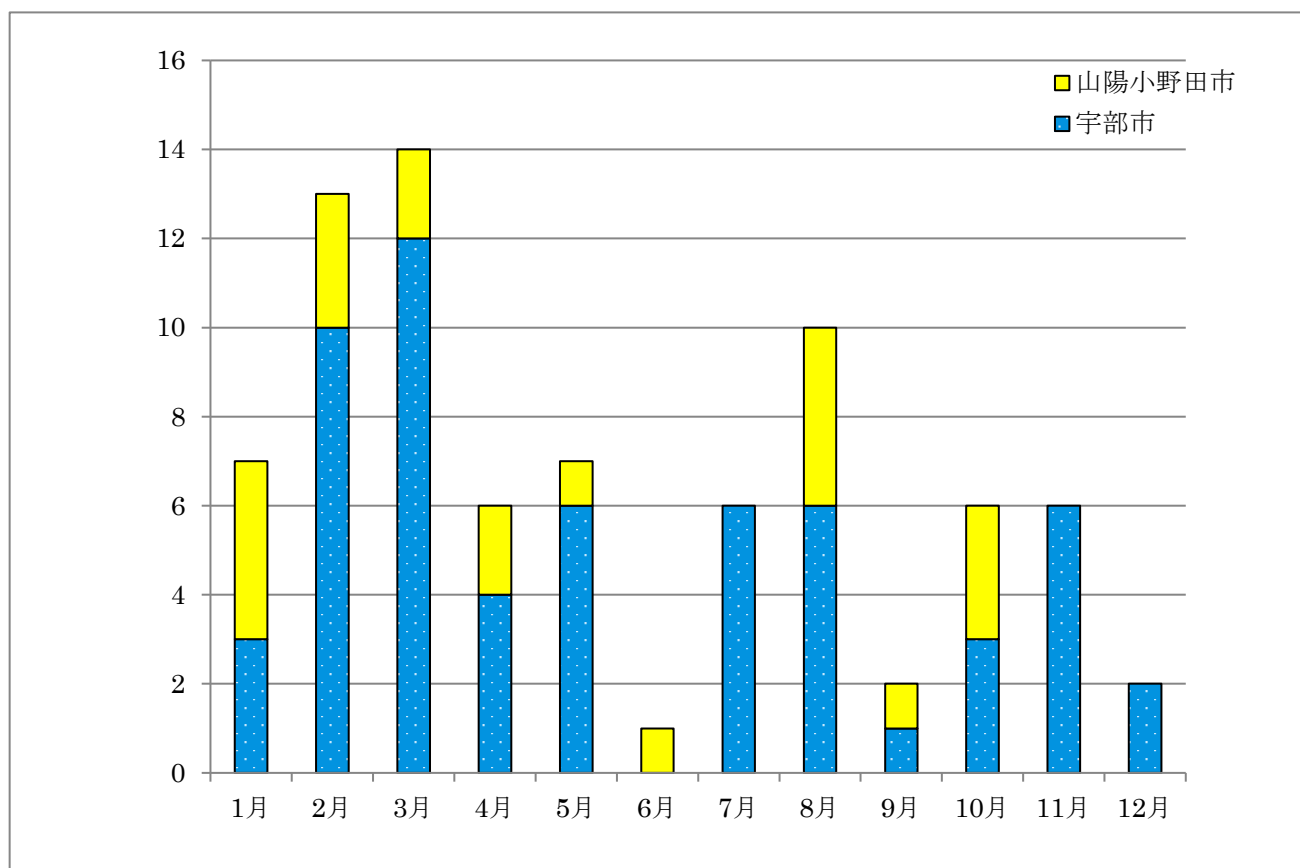
5 火災

(1) 月別火災発生状況

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

[単位：件]

市別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
宇部市	3	10	12	4	6		6	6	1	3	6	2	59
山陽小野田市	4	3	2	2	1	1		4	1	3			21
合計	7	13	14	6	7	1	6	10	2	6	6	2	80



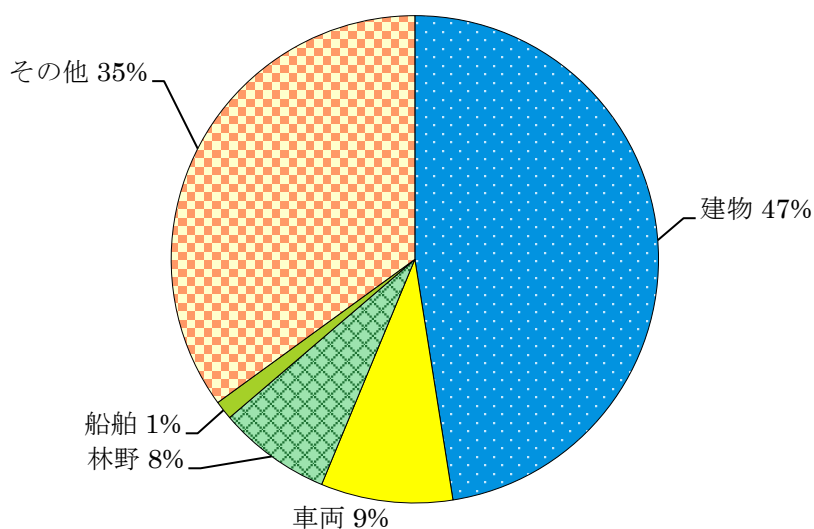
(2) 火災種別ごとの件数

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

[単位:件]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
	宇 部 市		27	5	6		1	20
山陽小野田市		11	2				8	21
合 計		38	7	6		1	28	80

火災種別ごとの割合



(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

[単位:人]

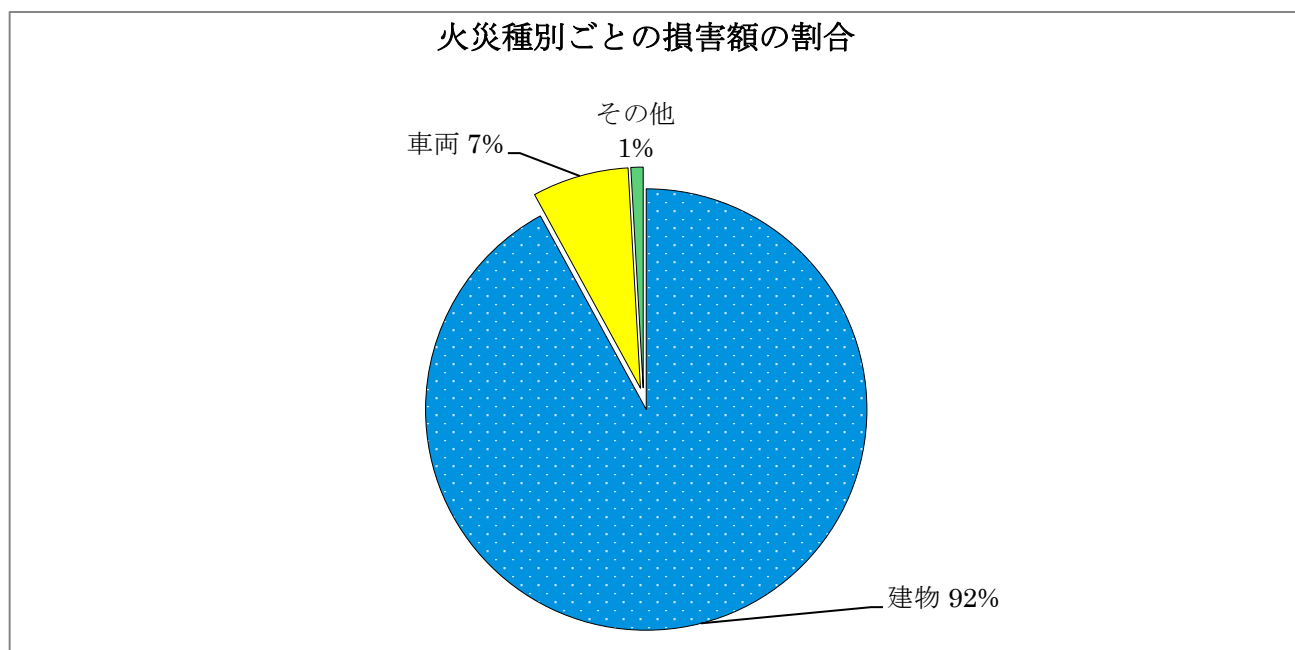
市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
	宇 部 市	死 者						
負傷者		2		1			4	7
山陽小野田市	死 者		1					1
	負傷者	4						4
合 計	死 者		1					1
	負傷者	6		1			4	11

(4) 火災種別ごとの損害額

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

[単位：千円]

市別	種別	建 物		車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
		建 物	収容物等						
宇 部 市	建 物	26,534		661				288	40,953
	収容物等	13,470							
山陽小野田市	建 物	17,091		4,051				308	25,669
	収容物等	4,219							
合 計	建 物	43,625		4,712				596	66,622
	収容物等	17,689							



(5) 焼損面積

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

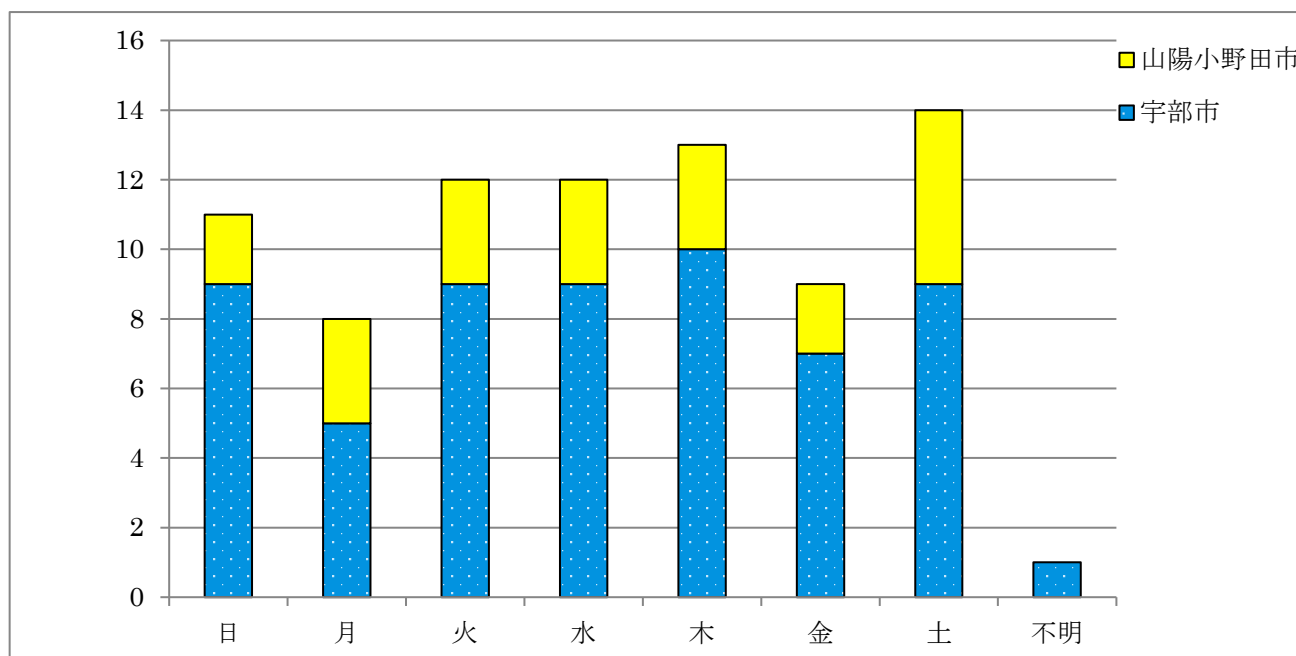
市別	種別	建 物 (㎡)		林 野 (a)	その他 (㎡)
		焼損床面積	焼損表面積		
宇 部 市		642	102	104	22,648
山陽小野田市		442	4		8,667
合 計		1,084	106	104	31,315

(6) 曜日別火災発生状況

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

[単位:件]

月別 曜日別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
日		3	4						1		2	1	11
月	2	3		1				1			1		8
火	1		4		1		1	3		1	1		12
水	3	2	1		1		2			2		1	12
木		2	4	1			1	1	1	1	2		13
金		1		2	2		1	2		1			9
土	1	2	1	2	3	1		3		1			14
不明							1						1
合計	7	13	14	6	7	1	6	10	2	6	6	2	80



(7) 時間帯別火災発生状況

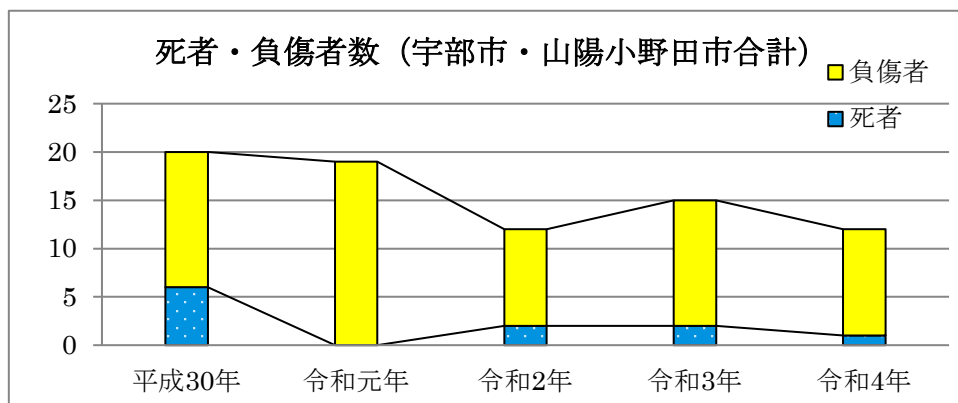
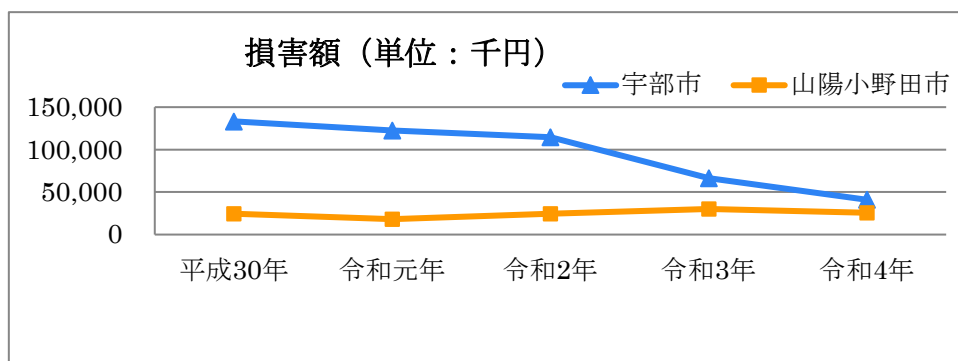
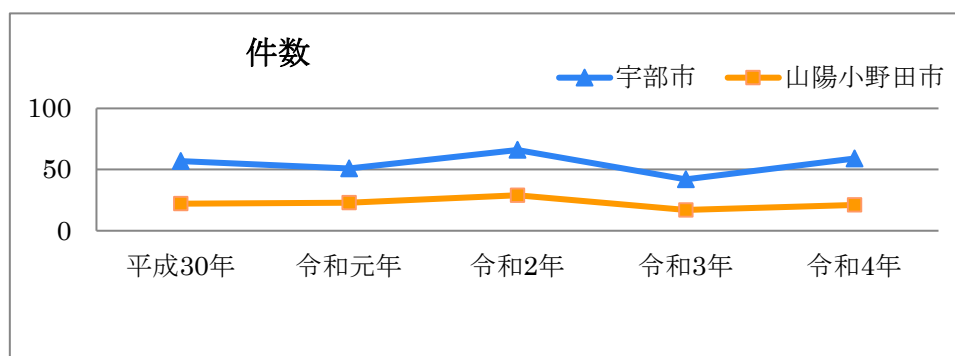
(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

件数・死傷者数 時間帯	件数 (件)	死傷者 (人)	
		死 者	負傷者
0時～1時			
1時～2時	2		
2時～3時			
3時～4時	1	1	
4時～5時			
5時～6時	1		
6時～7時	1		
7時～8時	1		2
8時～9時	4		1
9時～10時	5		
10時～11時	7		
11時～12時	5		2
12時～13時	5		
13時～14時	6		1
14時～15時	9		1
15時～16時	6		2
16時～17時	4		
17時～18時	7		
18時～19時	5		2
19時～20時	1		
20時～21時	2		
21時～22時	3		
22時～23時			
23時～24時	3		
不 明	2		
合 計	80	1	11

(8) 過去5年間の火災発生状況

(1月1日～12月31日)

年別	件数 (件)		損害額 (千円)		死傷者 (人)			
	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市		山陽小野田市	
					死者	負傷者	死者	負傷者
平成30年	57	22	133,263	24,619	4	12	2	2
令和元年	51	23	122,619	18,146		15		4
令和2年	66	29	114,589	24,512	2	7		3
令和3年	42	17	66,340	30,129	1	8	1	5
令和4年	59	21	40,953	25,669		7	1	4

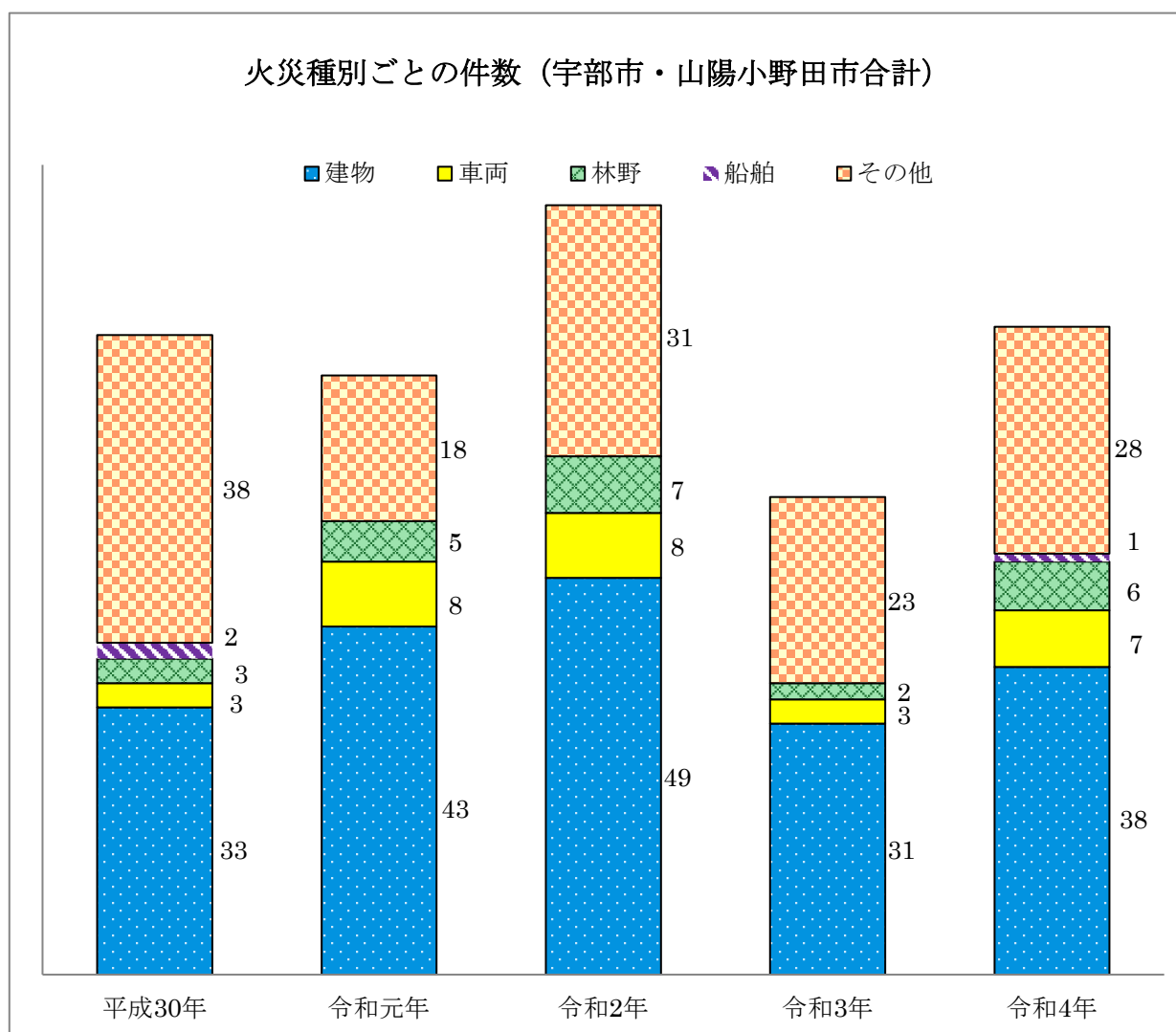


(9) 過去5年間の火災種別件数

(1月1日～12月31日)

[単位：件]

年別		種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	計	合 計
平成30年	宇 部 市		26	2	2		1	26	57	79
	山陽小野田市		7	1	1		1	12	22	
令和元年	宇 部 市		32	3	4			12	51	74
	山陽小野田市		11	5	1			6	23	
令和2年	宇 部 市		34	7	3			22	66	95
	山陽小野田市		15	1	4			9	29	
令和3年	宇 部 市		23	3	1			15	42	59
	山陽小野田市		8		1			8	17	
令和4年	宇 部 市		27	5	6		1	20	59	80
	山陽小野田市		11	2				8	21	

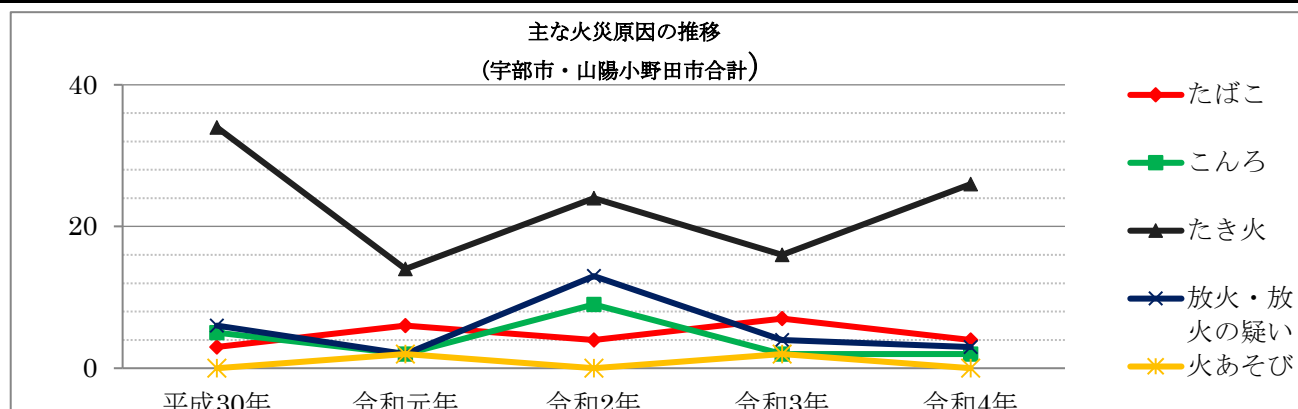


(10) 過去5年間の火災原因別件数

(1月1日～12月31日)

[単位:件]

年別 原因別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
たばこ	3	6	4	7	4
こんろ	5	2	9	2	2
かまど					1
風呂かまど	1	1	1	1	
炉	1				
焼却炉	1			1	
ストーブ		2	1		1
こたつ					
煙突・煙道	1		1	1	
排気管	1		2	1	
電気機器	1	1	1	1	2
電気装置		2	1	1	
電灯等の配線	1			1	3
内燃機関		1			
配線器具	3	3			4
火あそび		2		2	
マッチ・ライター	1	2	1		
たき火	34	14	24	16	26
溶接機・切断機			1	2	1
灯火				4	
衝突の火花					
取灰			1		
火入れ	1				2
放火	2		2	3	1
放火の疑い	4	2	11	1	2
その他	3	15	19	5	15
不明・調査中	16	21	16	10	16
合計	79	74	95	59	80

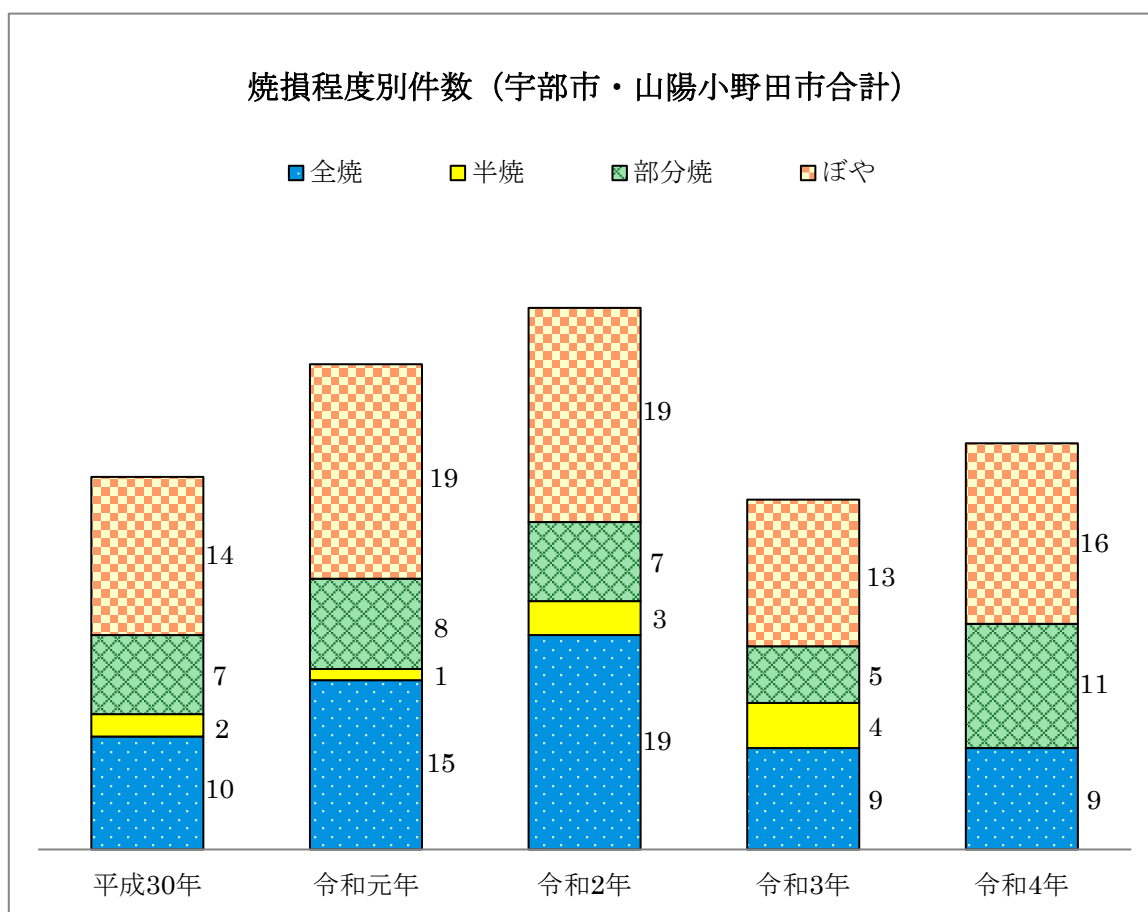


(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）

（1月1日～12月31日）

[単位：件]

年別		焼損別				計	合計
		全焼	半焼	部分焼	ぼや		
平成30年	宇部市	8	1	5	12	26	33
	山陽小野田市	2	1	2	2	7	
令和元年	宇部市	11	1	7	13	32	43
	山陽小野田市	4		1	6	11	
令和2年	宇部市	14	2	5	12	33	48
	山陽小野田市	5	1	2	7	15	
令和3年	宇部市	7	3	3	10	23	31
	山陽小野田市	2	1	2	3	8	
令和4年	宇部市	5		6	15	26	36
	山陽小野田市	4		5	1	10	

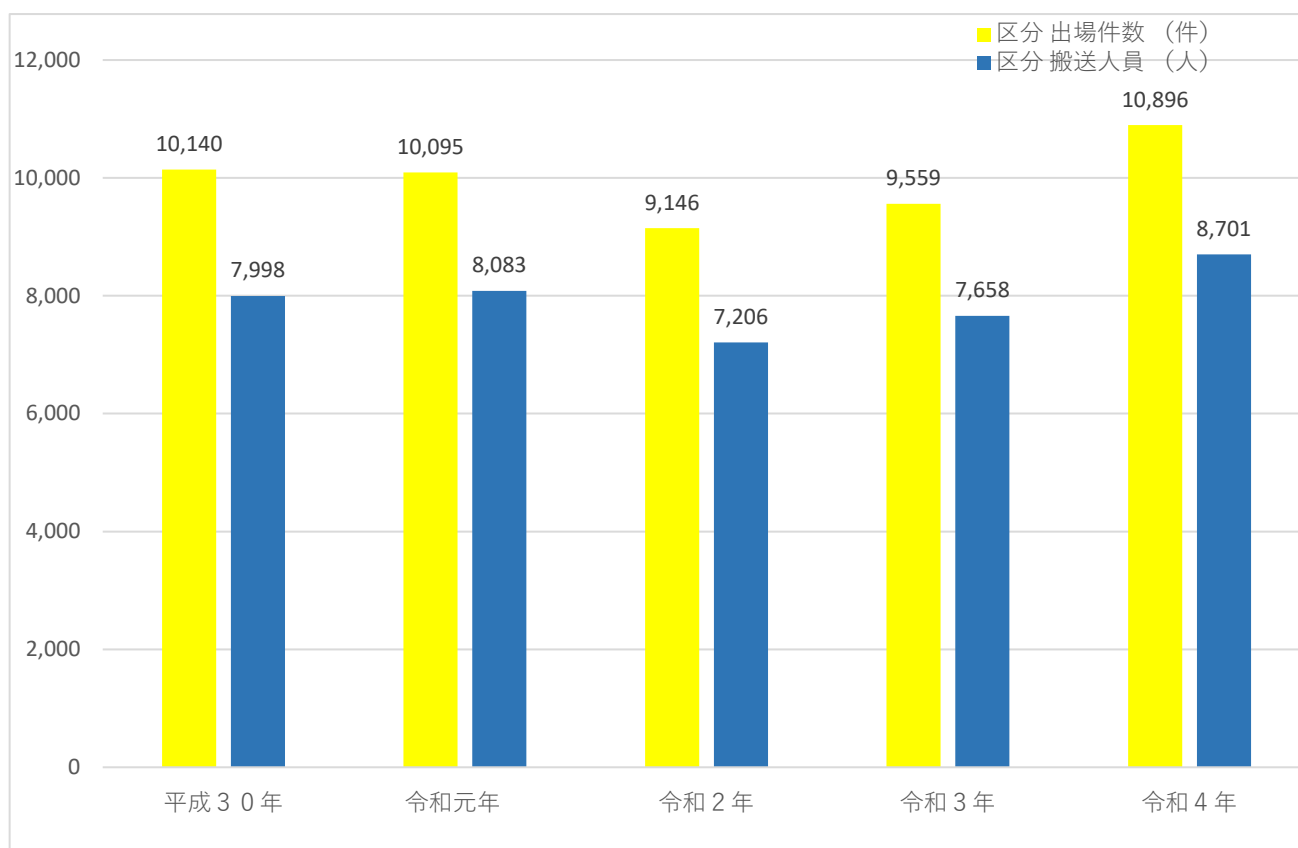


6 救急

(1) 過去5年間の救急状況

(1月1日～12月31日)

年別	区分	出場件数	搬送人員	1日平均	1日平均
		(件)	(人)	出場件数	搬送人員
		(件)	(人)	(件)	(人)
平成30年	宇部市	7,234	5,665	19.8	15.5
	山陽小野田市	2,906	2,333	8.0	6.4
	合計	10,140	7,998	27.8	21.9
令和元年	宇部市	7,182	5,750	19.7	15.8
	山陽小野田市	2,913	2,333	8.0	6.4
	合計	10,095	8,083	27.7	22.1
令和2年	宇部市	6,560	5,142	17.9	14.0
	山陽小野田市	2,586	2,064	7.1	5.6
	合計	9,146	7,206	25.0	19.7
令和3年	宇部市	6,865	5,455	18.8	14.9
	山陽小野田市	2,694	2,203	7.4	6.0
	合計	9,559	7,658	26.2	21.0
令和4年	宇部市	7,835	6,257	21.5	17.1
	山陽小野田市	3,061	2,444	8.4	6.7
	合計	10,896	8,701	29.9	23.8

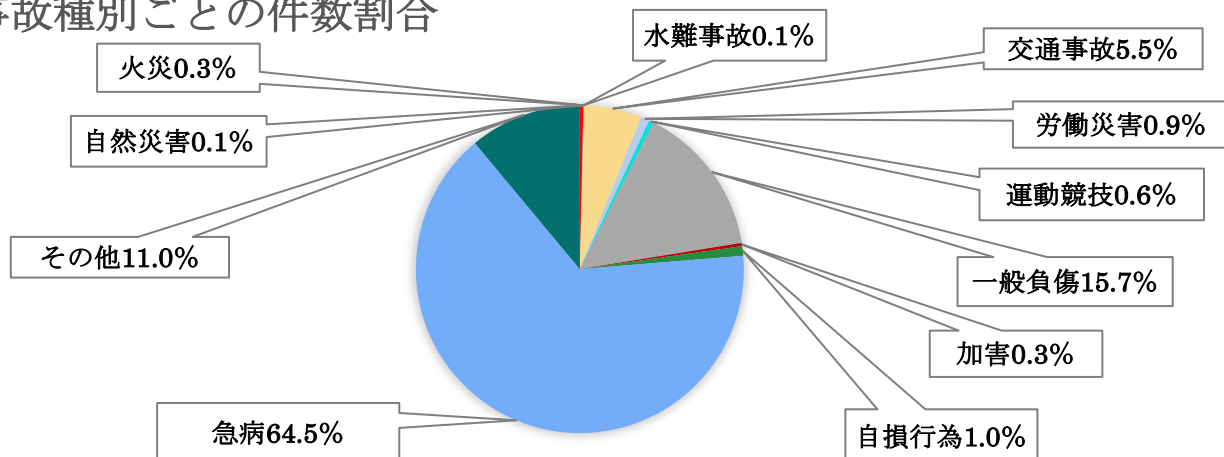


(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

事故種別		市別		
		宇部市	山陽小野田市	合計
火災	出場件数(件)	27	11	38
	搬送人員(人)	4	4	8
自然災害	出場件数	1	1	2
	搬送人員	1	1	2
水難事故	出場件数	4	2	6
	搬送人員	2	0	2
交通事故	出場件数	448	153	601
	搬送人員	328	110	438
労働災害	出場件数	65	33	98
	搬送人員	64	27	91
運動競技	出場件数	37	29	66
	搬送人員	32	26	58
一般負傷	出場件数	1176	533	1709
	搬送人員	958	448	1406
加害	出場件数	25	9	34
	搬送人員	13	2	15
自損行為	出場件数	74	41	115
	搬送人員	49	24	73
急病	出場件数	5,112	1,912	7,024
	搬送人員	4,124	1,538	5,662
その他	出場件数	866	337	1,203
	搬送人員	682	264	946
合計	出場件数	7,835	3,061	10,896
	搬送人員	6,257	2,444	8,701

事故種別ごとの件数割合



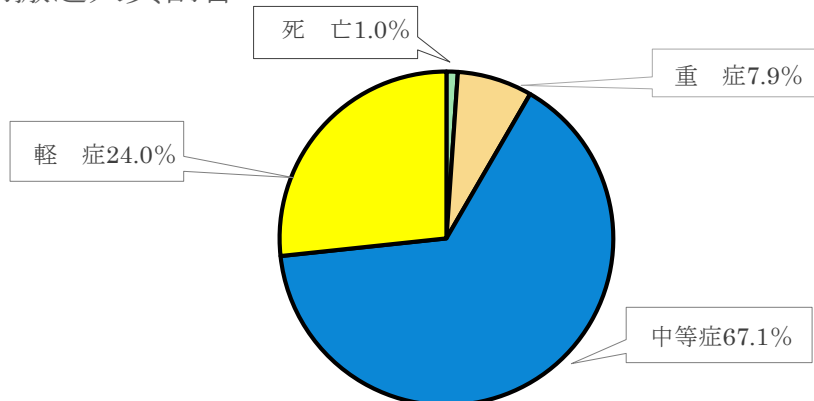
(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

[単位：人]

事故種別		傷病程度					合計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
火災	宇部市			1	3		4
	山陽小野田市		2	1	1		4
自然災害	宇部市				1		1
	山陽小野田市				1		1
水難事故	宇部市			2			2
	山陽小野田市						0
交通事故	宇部市		13	130	185		328
	山陽小野田市		4	35	71		110
労働災害	宇部市		6	32	26		64
	山陽小野田市		3	14	10		27
運動競技	宇部市		1	16	15		32
	山陽小野田市			14	12		26
一般負傷	宇部市	4	73	592	289		958
	山陽小野田市	3	57	226	162		448
加害	宇部市			5	8		13
	山陽小野田市				2		2
自損行為	宇部市	4	10	25	10		49
	山陽小野田市	2	2	14	6		24
急病	宇部市	53	268	2,965	838		4,124
	山陽小野田市	19	124	965	430		1,538
その他	宇部市		81	587	14		682
	山陽小野田市		46	216	2		264
合計	宇部市	61	452	4,355	1,389		6,257
	山陽小野田市	24	238	1,485	697		2,444
	合計	85	690	5,840	2,086		8,701

傷病程度別搬送人員割合



(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー） 出場件数及び活動件数

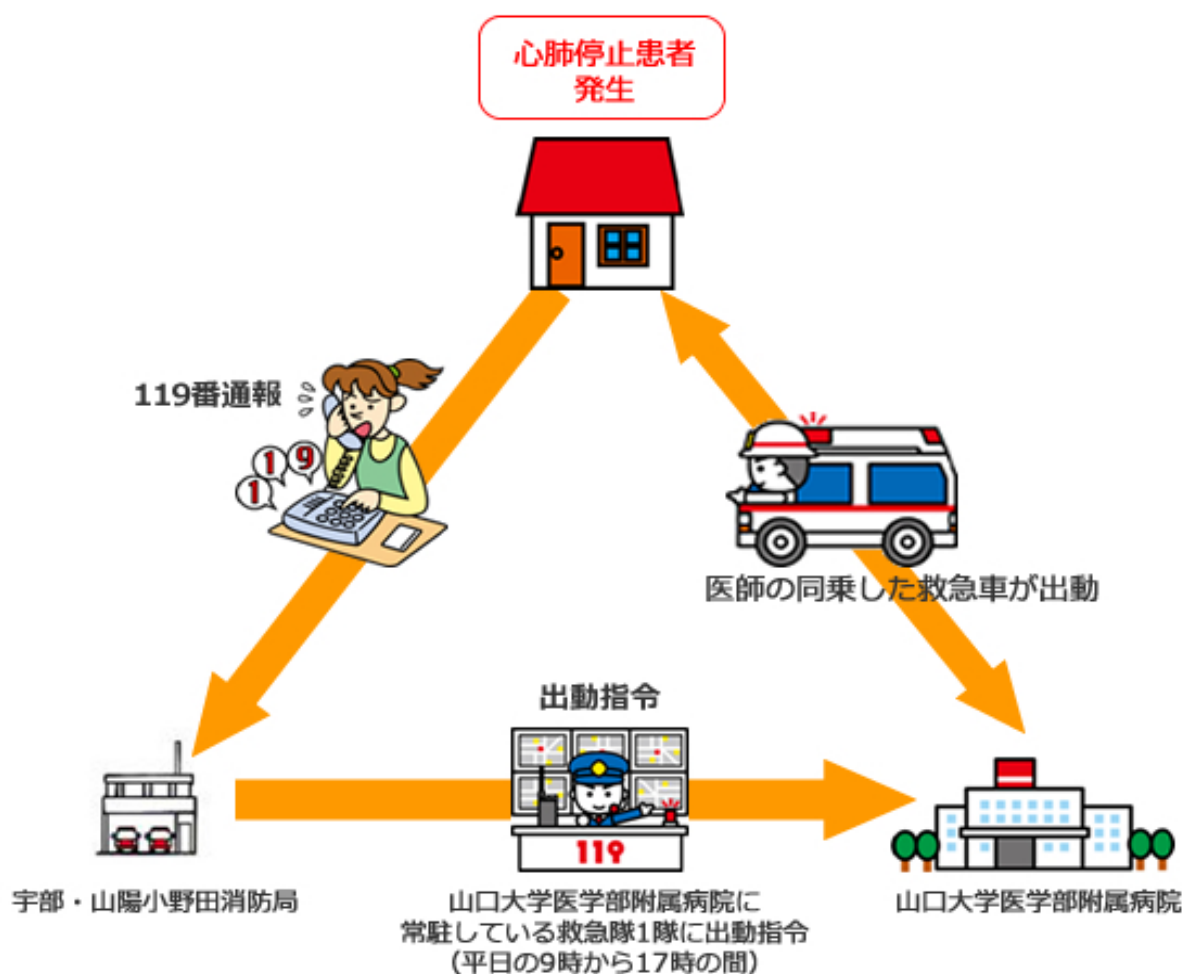
(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送
出場件数 (件)	195	0	0	0	6	4	0	6	0	4	69	0	106
活動件数 (件)	89	0	0	0	6	4	0	6	0	4	69	0	0

救急車医師同乗システム（ドクターカー）

システム概要

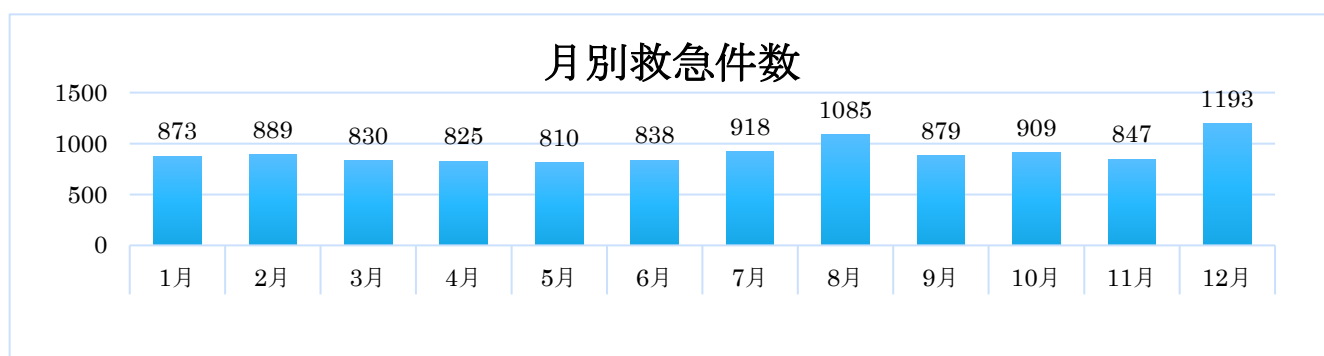
救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）の内容



(5) 事故種別・月別出場件数及び搬送人員

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

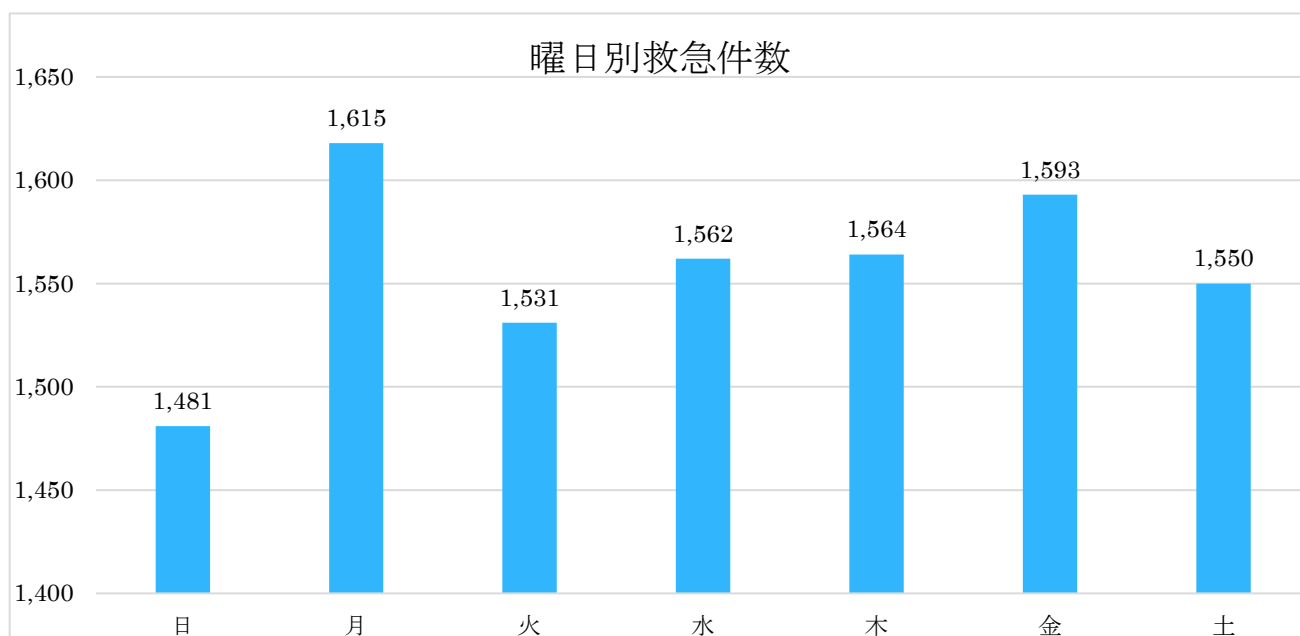
事故種別		計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月別													
1月	件数	873	4			50	7	4	132	6	11	550	106
	人員	685				38	7	4	117	3	6	428	82
2月	件数	889	4			45	4	5	129	1	8	580	113
	人員	687	1			32	3	5	109	1	6	447	83
3月	件数	830	5		1	48	6	6	127	1	9	546	81
	人員	635				32	5	6	101	1	6	430	55
4月	件数	825	3			39	5	6	147	2	9	537	77
	人員	663				29	5	4	122	1	3	438	61
5月	件数	810	3		1	41	8	8	137	3	10	517	82
	人員	672	1		1	29	7	7	110	2	6	444	65
6月	件数	838	2			54	9	7	122	2	8	534	100
	人員	699	2			49	9	7	104		7	440	81
7月	件数	918	3		2	35	9	3	133	2	11	627	93
	人員	776				26	8	3	120	1	7	534	77
8月	件数	1,085				41	10	6	148	4	9	747	115
	人員	831				31	8	4	111	3	5	581	88
9月	件数	879	1	1	1	50	10	4	133	3	21	549	106
	人員	696	1	1	1	37	10	3	104	1	14	439	85
10月	件数	909	4			63	8	4	461	2	7	557	103
	人員	720	2			44	7	3	129	1	4	446	84
11月	件数	847	3			65	9	9	135	3	7	530	86
	人員	685	1			42	9	9	114		6	436	68
12月	件数	1,193	1	1	1	70	13	4	205	5	5	750	138
	人員	952		1		49	13	3	165	2	3	599	117
合計	件数	10,896	38	2	6	601	98	66	1,709	34	115	7,024	1,203
	人員	8,701	8	2	2	438	91	58	1,406	15	73	5,662	946



(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

事故種別 曜日別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
日	件数(件)	1,481	5		1	83	2	17	241	8	14	1,026	84
	人員(人)	1,196	1			62	2	15	201	4	7	828	76
月	件数	1,615	1	1	1	91	20	10	262		11	1,025	193
	人員	1,325	1	1	1	60	18	8	220		8	859	149
火	件数	1,531	5			82	19	5	226	2	22	970	200
	人員	1,225	1			58	17	5	184		15	796	149
水	件数	1,562	8		2	92	11	8	248	3	16	971	203
	人員	1,213	2			62	11	6	202	1	8	771	150
木	件数	1,564	6		1	87	17	9	249	7	19	979	190
	人員	1,250	1		1	70	15	8	204	5	15	787	144
金	件数	1,593	5	1	1	91	14	5	238	3	19	996	220
	人員	1,250		1		67	14	5	189	2	8	791	173
土	件数	1,550	8			75	15	12	245	11	14	1,057	113
	人員	1,242	2			59	14	11	206	3	12	830	105
合 計	件数	10,896	38	2	6	601	98	66	1,709	34	115	7,024	1,203
	人員	8,701	8	2	2	438	91	58	1,406	15	73	5,662	946

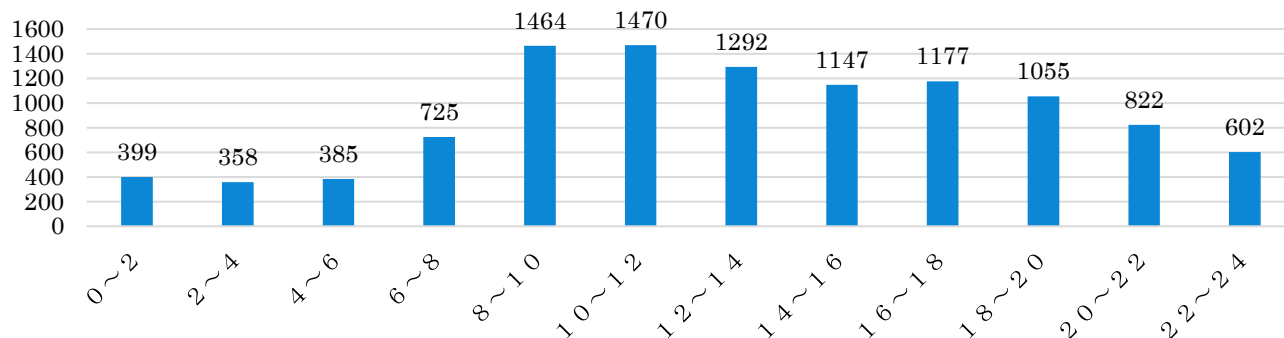


(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

時間帯別	事故種別	計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
			災	災害	難	通	働	動	般	害	損	病	の
			災	害	事故	事故	災害	競技	負傷		行為		他
0～2	件数(件)	399	1			8	2		55	5	8	306	14
	人員(人)	300				5	1		37	3	4	236	14
2～4	件数	358				5	2		40	2	7	292	10
	人員	267				4	2		33		3	219	6
4～6	件数	385	1			22	2		52	1	7	282	18
	人員	290				19	2		41		6	209	13
6～8	件数	725	1	1	2	57	4	1	135		6	506	12
	人員	572		1		36	4	1	116		1	403	10
8～10	件数	1,464	10		1	87	14	5	283	3	7	902	152
	人員	1,225	2			62	13	4	261	3	5	770	105
10～12	件数	1,470	4		1	73	23	19	215	1	8	853	273
	人員	1,205	1		1	55	22	16	186	1	7	705	211
12～14	件数	1,292	6		1	53	17	10	202	1	10	744	248
	人員	1,007	1			36	15	10	158	1	7	591	188
14～16	件数	1,147	4	1		77	21	9	177	2	11	684	161
	人員	927		1		51	20	8	151		6	565	125
16～18	件数	1,177	5		1	92	4	12	200	3	12	691	157
	人員	934	2		1	65	4	10	160	2	7	558	125
18～20	件数	1,055	2			71	5	6	173	6	17	693	82
	人員	869	2			58	4	5	134	2	11	573	80
20～22	件数	822	3			36	2	3	101	8	8	624	37
	人員	633				28	2	3	71	2	8	483	36
22～24	件数	602	1			20	2	1	76	2	14	447	39
	人員	472				19	2	1	58	1	8	350	33
合計	件数	10,896	38	2	6	601	98	66	1,709	34	115	7,024	1,203
	人員	8,701	8	2	2	438	91	58	1,406	15	73	5,662	946

時間帯別救急件数



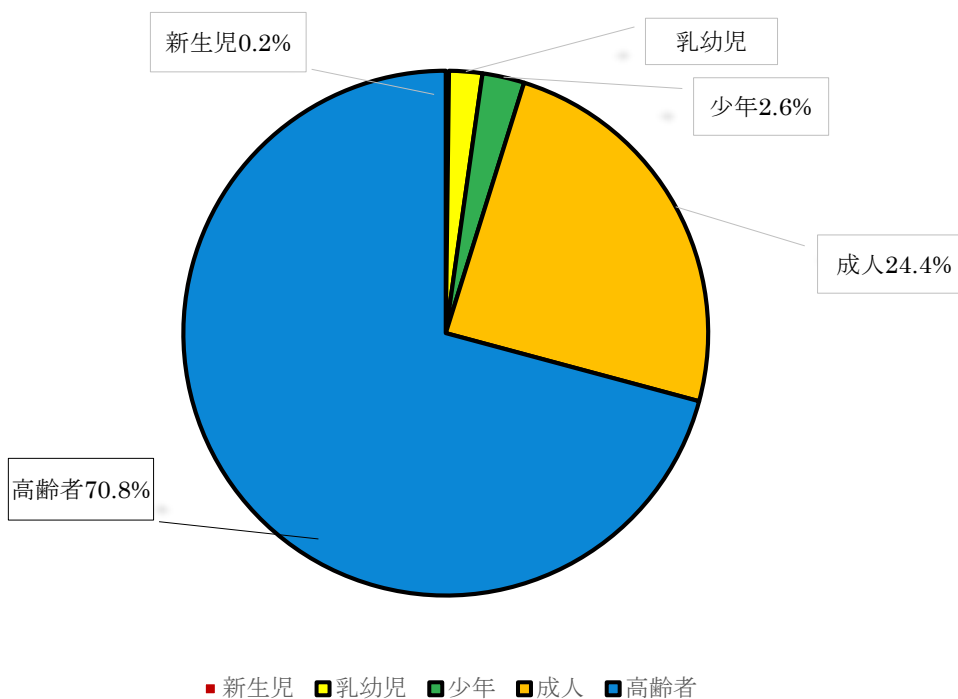
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

[単位：人]

事故種別 年齢区分	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児 (生後28日未満)	17										1	16
乳幼児 (7歳未満)	178				6			35	1		122	14
少年 (7歳～17歳)	225				39		34	30	1	3	112	6
成人 (18歳～64歳)	2,119	1	1	1	224	75	22	149	11	52	1,355	228
高齢者 (65歳以上)	6,162	7	1	1	169	16	2	1,192	2	18	4,072	682
合計	8,701	8	2	2	438	91	58	1,406	15	73	5,662	946
高齢者割合 (%)	71	88	50	50	39	18	3	85	13	25	72	72

年齢区分別搬送人員割合



7 救助

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

市別 種別		宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
		出 動 (件)	活 動 (件)	救 助 人 員 (人)	出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員
火 災	建 物	4	4	3				4	4	3
	建物以外									
交 通 事 故		27	11	13	15	10	10	42	21	23
水 難 事 故		4	3	3	3	3	2	7	6	5
風 水 害 自 然 災 害					1	1	2	1	1	2
機械による事故		2	2	2				2	2	2
建物等による事故		8	4	4	3	3	3	11	7	7
ガス・酸欠事故										
破 裂 事 故										
そ の 他 事 故		5	3	3	2	2	2	7	5	5
合 計		50	27	28	24	19	19	74	46	47

8 火災以外の出動

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

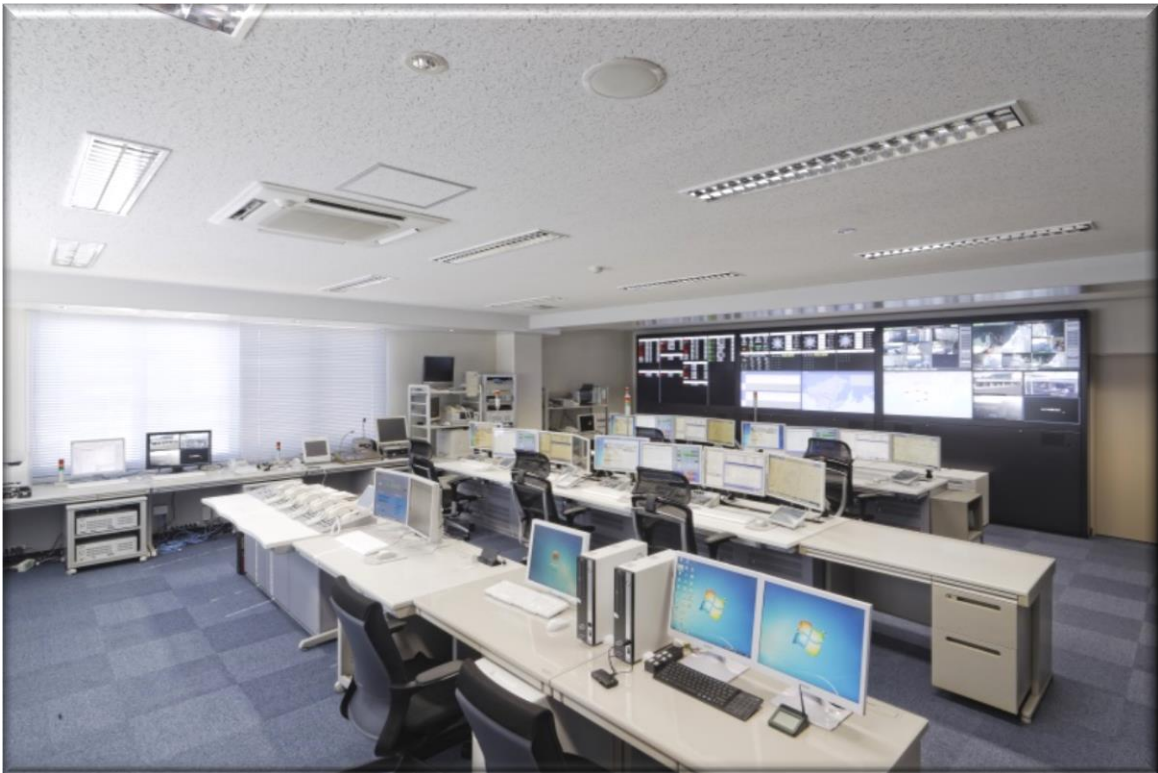
出動種別		月別												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
風水害等の災害	回数(回)							9		12				21
	人員(人)							31		71				102
火災原因調査	回数	3	8	5	2	2	1	5		1	2	1	2	32
	人員	15	34	25	10	11	7	16		2	9	3	10	142
特別警戒	回数													
	人員													
搜索	回数													
	人員													
誤報等	回数	2			1		1							4
	人員	6			6		3							15
救急補助	回数	142	129	109	118	93	91	76	143	116	127	107	153	1,404
	人員	441	383	322	367	283	282	234	441	347	376	330	482	4,258
その他	回数	11	19	16	26	9	20	22	26	27	23	21	23	243
	人員	49	70	57	88	32	94	105	98	94	81	86	75	929
合計	回数	158	156	130	147	104	113	112	169	156	152	129	178	1,704
	人員	511	487	404	471	326	386	386	509	514	466	419	567	5,446

9 救急講習

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

区分 受講者別	宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
	講習 件数 (件)	受講 者数 (人)	指導 者数 (人)	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数
普通救命講習Ⅰ	55	552	115	70	627	91	125	1,179	206
普通救命講習Ⅲ									
上級救命講習	4	16	8	13	24	16	17	40	24
応急手当 普及員講習Ⅰ									
応急手当 指導員講習Ⅰ	4	9	8	1	5	6	5	14	14
普通救命講習Ⅰ (普及員)									
救命入門コース	2	17	4	1	8	1	3	25	5
その他講習	2	22	4	4	23	4	6	45	8
合 計	67	616	139	89	687	118	156	1,303	257

通 信 指 令



高機能消防指令センター

電話による119番通報のほか、インターネット、メール及びFAXを利用した通報にも対応可能で、通報受付から出動指示、現場到着までを迅速に行うことができます。また、高機能消防指令センターと出動部隊が各種情報を共有することで、的確な現場活動を行うことができます。



消防救急デジタル無線設備

消防救急デジタル無線設備の整備により、無線の秘匿性の向上、不感地帯の解消及びデータ送信を利用したシステムの活用等が可能となりました。

1 消防通信施設

(1) 消防指令センター

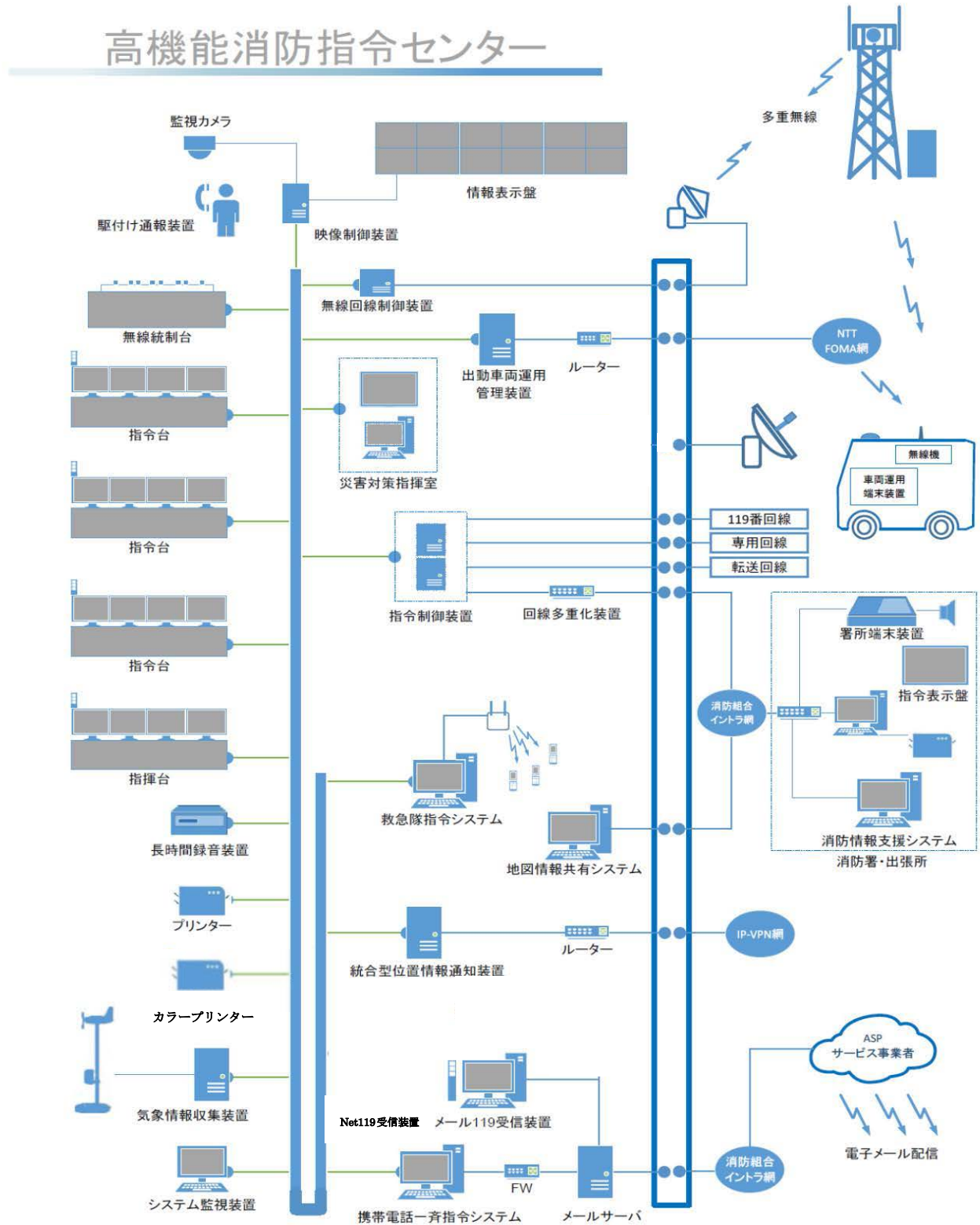
機 器 名	数 量	設 置 年 月 日
高機能消防指令センター（Ⅱ型） 1. 指令装置 2. 指揮台 3. 表示盤 4. 無線統制台 5. 指令伝送装置 6. 気象情報収集装置 7. 災害状況等自動案内装置 8. 順次指令装置 9. 音声合成装置 10. 出動車両運用管理装置 11. システム監視装置 12. 地図検索装置 13. 統合型位置情報通知装置 14. 長時間録音装置 15. 自動出動指定装置 16. 駆け込み通報装置	一式	平成 26 年 3 月更新
メール 119	一式	平成 26 年 3 月更新
F A X 119	一式	平成 26 年 3 月更新
N e t 119	一式	令和 2 年 10 月
山口県総合防災情報ネットワーク	一式	平成 20 年 3 月
宇部市防災用移動系無線(デジタル MCA 無線)システム	一式	平成 20 年 4 月

(2) 電話回線

令和 5 年 4 月 1 日現在

回線 所属	119 回線 (IP含む)	携帯 119 着信	指令 回線	携帯 119 転送	加入 電話	FAX	緊急 通報	衛星 通信	高速 山陽道
消 防 局 中 央 署	5	2		2	8	4	2	1	1
東 部			1		1	1			
西 署			1		2	1			
北 部			1		2	1			
楠			1		1	1			
小野田署			1		3	1			
山 陽 署			1		2	1			
埴 生			1		1	1			
合 計	5	2	7	2	20	11	2	1	1

(3) システム構成図



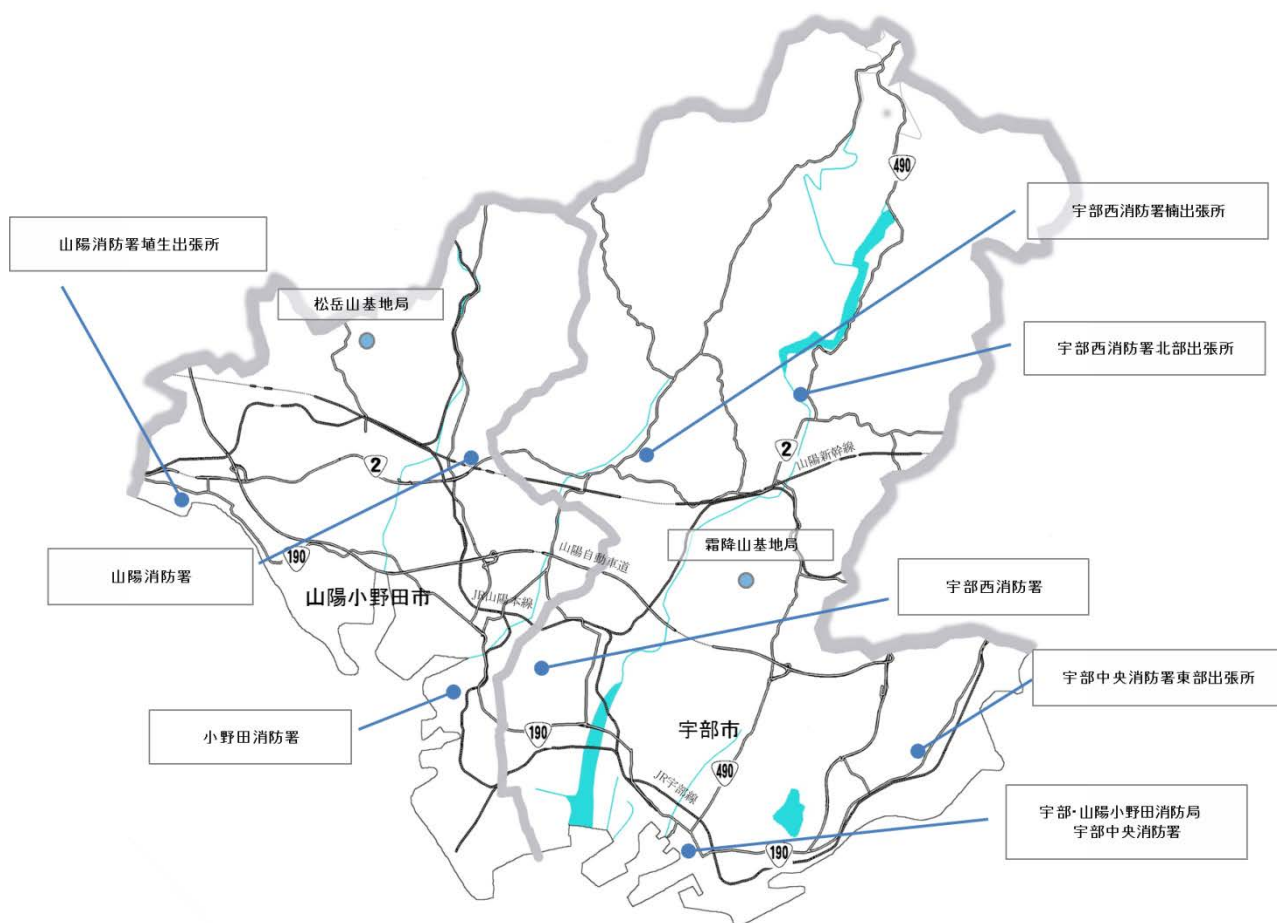
(4) 自家用発電機

令和5年4月1日現在

所 属	出 力	設置年月日
消 防 局	105KVA	平成19年2月
東 部 出 張 所	9.9KVA	平成24年1月
宇 部 西 消 防 署	9.9KVA	平成22年6月
北 部 出 張 所	9.5KVA	平成25年12月
楠 出 張 所	9.9KVA	平成30年2月
小 野 田 消 防 署	100KVA	平成11年1月
山 陽 消 防 署	35KVA	平成25年3月
埴 生 出 張 所	9.5KVA	平成25年12月
霜 降 山 基 地 局	15KVA	平成25年12月
松 岳 山 基 地 局	10KVA	平成25年12月

(5) 無線局

令和5年4月1日現在



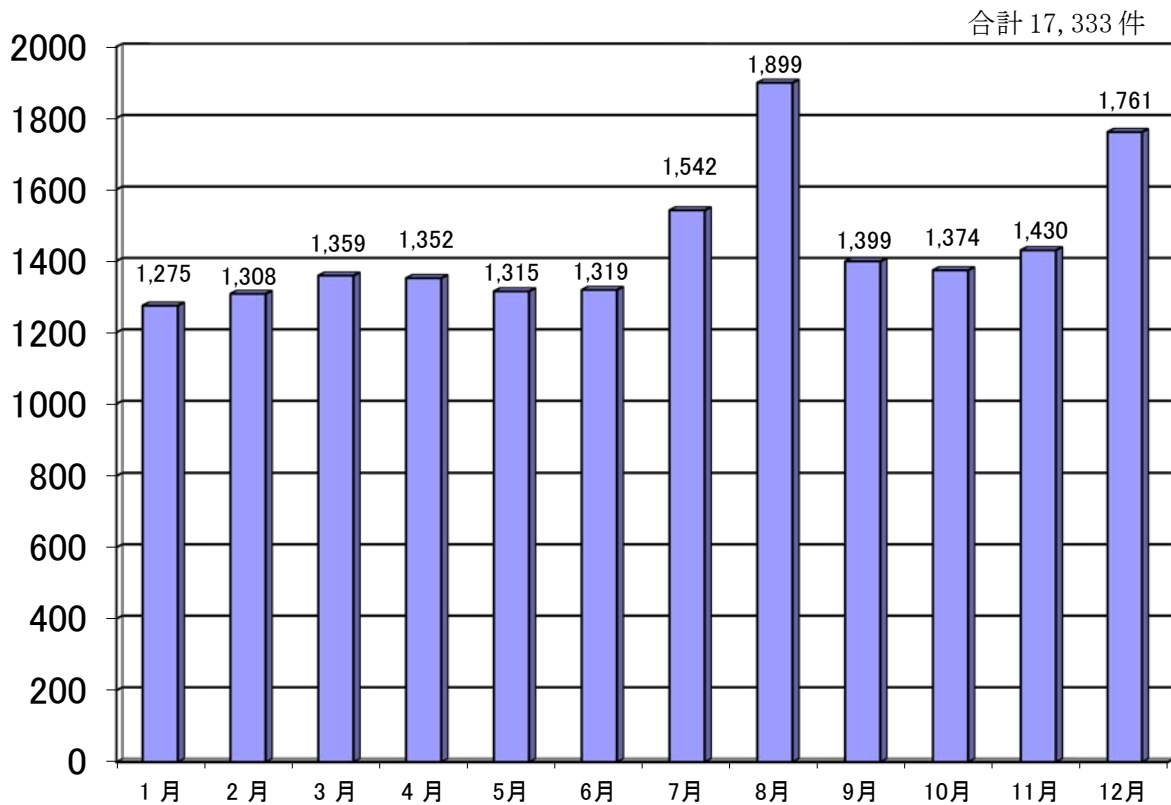
[単位：局]

		消防局	霧降山	松岳山	中央署	東部	西署	北部	楠	小野田署	山陽署	埴生	合計
基	地 局	1	1	1									3
	(固定局)	(1)	(1)	(1)							(1)		(4)
移 動 局	卓上型					1	1	1	1	1	1	1	7
	車載型	8			17	4	9	4	4	17	9	3	75
	携帯型	7			16	7	12	7	7	12	12	5	85
	可搬型				1					1			2

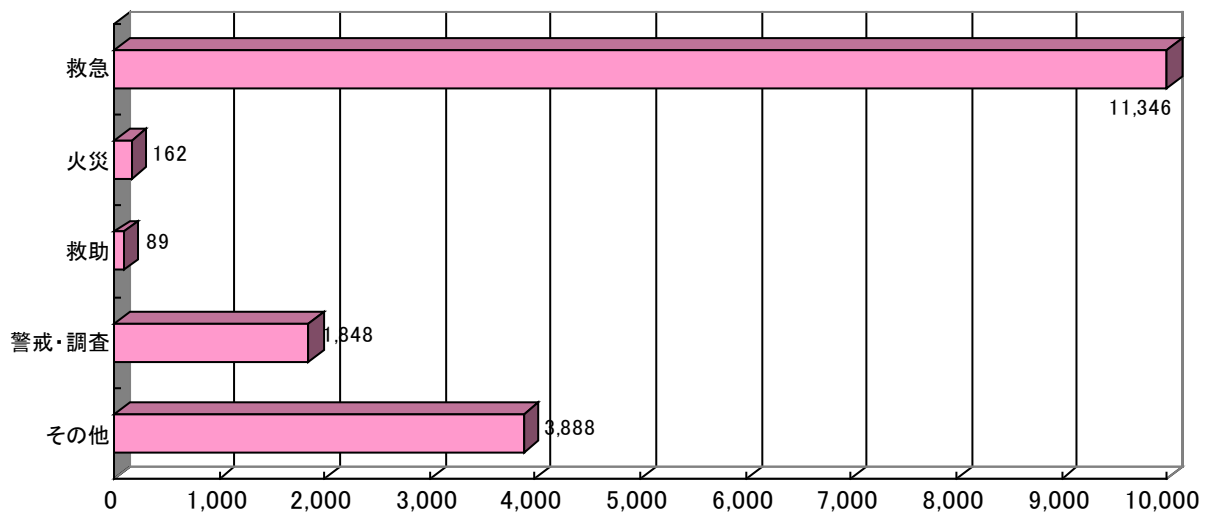
2 119回線着信件数

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

月別着信件数



種別毎着信件数(同報含む)



消 防 団



宇部市消防団

小型動力ポンプ付積載車の配備

宇部市消防団は市民の『安心・安全な暮らしの確保』に向けて消防施設整備の充実強化と共に消防団員としての更なる強化を図り、定例訓練・防火防災指導等に尽力しています。

山陽小野田市消防団

山陽小野田市消防操法大会の実施

令和元年度以来3年振りとなる山陽小野田市消防操法大会を実施しました。

市民の生命及び財産を守るため、安全、確実かつ迅速に消火活動を行えるよう消防技術の錬磨を図り、市民の安心・安全確保に全力を尽くします。



宇部市消防団

宇部・山陽小野田消防組合との合同訓練



山陽小野田市消防団

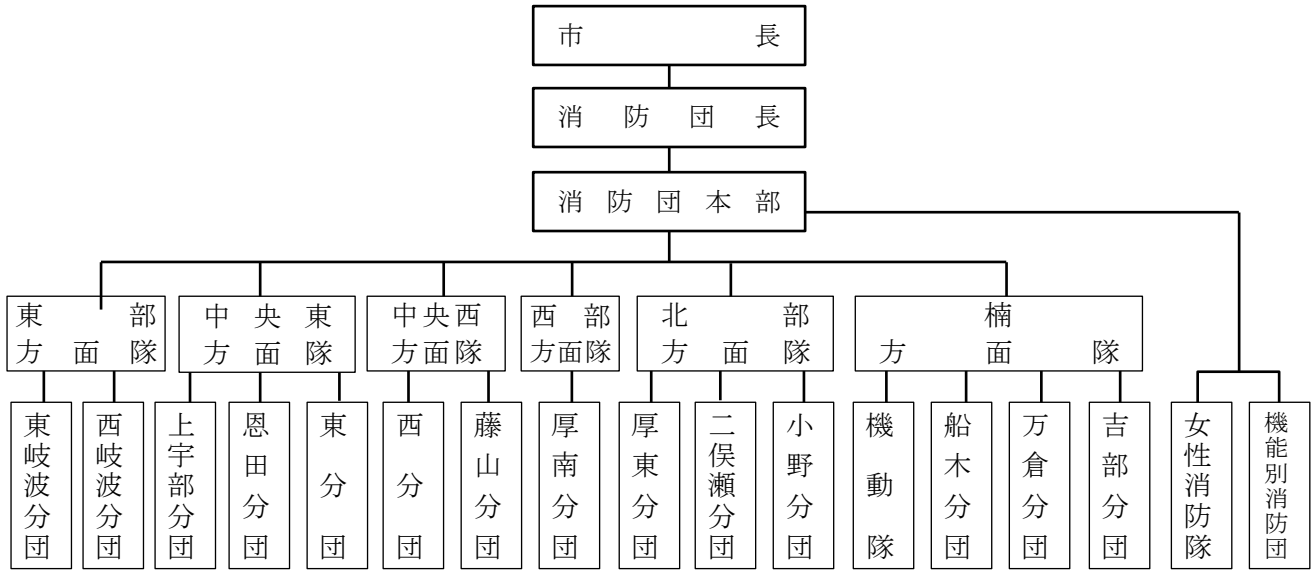
長距離中継送水訓練



宇部市及び山陽小野田市ともに、大規模な災害時における常備消防と消防団との連携強化を図るため、宇部・山陽小野田消防組合との連携訓練を重ね、地域防災の要として、市民の安心・安全を担います。

1 消防団組織図

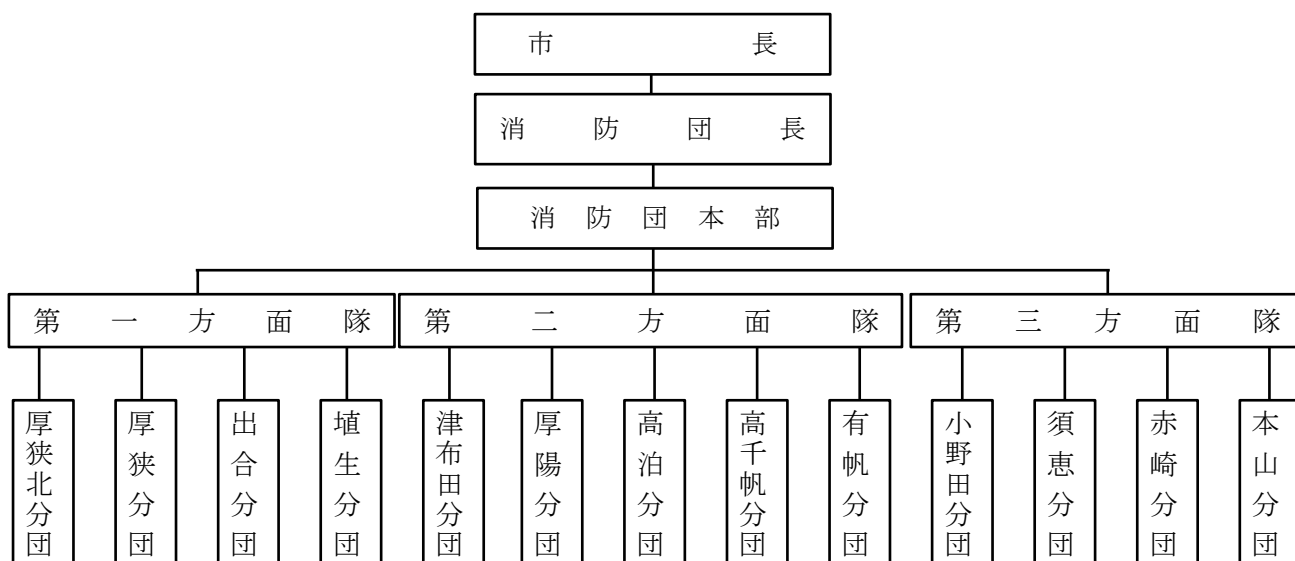
(1) 宇部市消防団



令和5年4月1日現在 [単位：人]

消防団員定数表	所 属	消防団本部		東 部 方 面 隊			中 央 東 方 面 隊			中 央 西 方 面 隊		西 部 方 面 隊			北 方 面 隊			南 方 面 隊				合 計
		機能別消防団	女性消防隊	東岐波分団	西岐波分団	上宇部分団	恩田分団	東分団	西分団	藤山分団	厚南分団	厚東分団	二俣瀬分団	小野分団	機動隊	船木分団	万倉分団	吉部分団				
定 数		100	720																	820		
実 員 数	令和5年4月1日現在	13	13	41	47	59	32	20	23	22	24	66	28	25	59	15	32	24	34	577		

(2) 山陽小野田市消防団



令和5年4月1日現在 [単位：人]

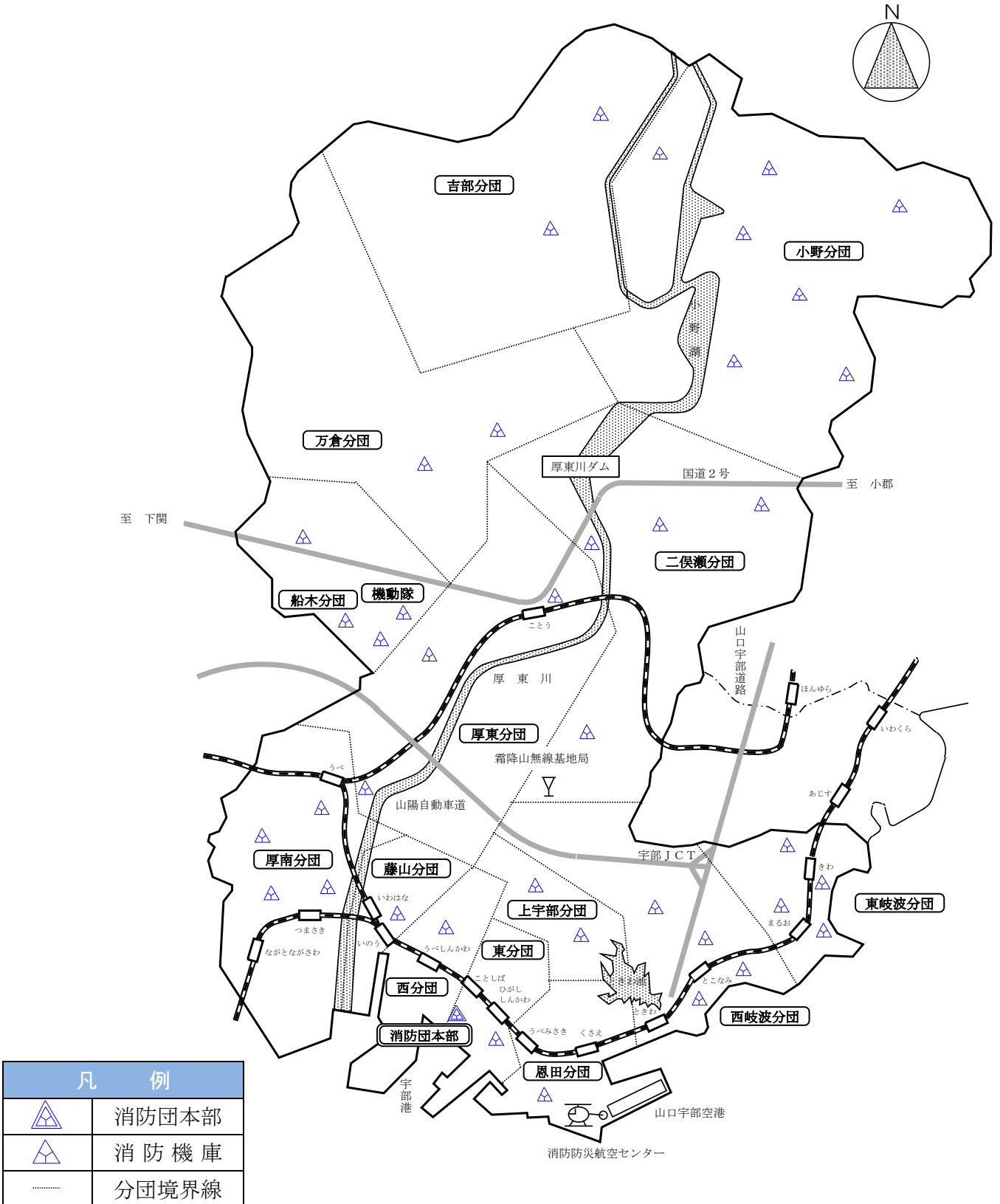
消防団員	職階級	所 属	消防団本部	第一方面隊				第二方面隊					第三方面隊				合 計	
				厚狭北分団	厚狭分団	出合分団	埴生分団	津布田分団	厚陽分団	高泊分団	高千帆分団	有帆分団	小野田分団	須恵分団	赤崎分団	本山分団		
数 表 (職階級別)	団 長		1															1
	方面隊長 (副団長)		3	1(注)				1(注)					1(注)				3	
	本部長 または 分団長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
	副本部長 または 副分団長		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
	部 長		5	3	4	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	36	
	班 長		9	5	7	3	7	3	3	3	3	3	3	3	3	3	58	
	団 員		51	30	42	19	42	19	19	19	19	19	19	19	23	19	359	
	合 計		71	40	55	26	55	26	26	26	26	26	26	26	30	26	485	
実員数	令和5年4月1日現在		46 (36)	35	42	26	45	23	21	20	20	21	17	16	26	20	378 (36)	

() ~うち女性消防団員 (注) 方面隊長は団本部に所属

2 消防団配置図

(1) 宇部市消防団

令和5年4月1日現在



(2) 山陽小野田市消防団

令和5年4月1日現在



3 消防団員階級別年齢

【宇部市消防団】

令和5年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							3	3
20 歳以上 25 歳未満							24	24
25 歳以上 30 歳未満							14	14
30 歳以上 35 歳未満					1	2	30	33
35 歳以上 40 歳未満					1	1	53	55
40 歳以上 45 歳未満					2	9	67	78
45 歳以上 50 歳未満					4	23	71	98
50 歳以上 55 歳未満					9	41	37	87
55 歳以上 60 歳未満			2	4	18	22	28	74
60 歳以上 65 歳未満		2	4	7	11	16	15	55
65 歳以上 70 歳未満	1	1	12	4	9	4	11	42
70 歳以上		1					13	14
合 計	1	4	18	15	55	118	366	577
平 均	65	67	64	62	56	52	44	48

【山陽小野田市消防団】

令和5年4月1日現在 [単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							5	5
20 歳以上 25 歳未満							27	27
25 歳以上 30 歳未満							16	16
30 歳以上 35 歳未満							38	38
35 歳以上 40 歳未満						2	39	41
40 歳以上 45 歳未満						4	43	47
45 歳以上 50 歳未満					3	15	45	63
50 歳以上 55 歳未満				2	7	16	26	51
55 歳以上 60 歳未満				2	9	7	8	26
60 歳以上 65 歳未満			1	4	8	6	6	25
65 歳以上 70 歳未満			9	5	7	5	3	29
70 歳以上	1	3	4	1	1			10
合 計	1	3	14	14	35	55	256	378
平 均	74	73	68	63	59	53	39	45

4 消防団員階級別勤続年数

【宇部市消防団】

令和5年4月1日現在 [単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満					2		109	111
5年以上10年未満						5	89	94
10年以上15年未満					7	20	78	105
15年以上20年未満					5	22	35	62
20年以上25年未満			1	3	10	32	22	68
25年以上30年未満			3	3	12	17	16	51
30年以上35年未満			4	2	10	17	9	42
35年以上40年未満	1	2	7	6	8	5	6	35
40年以上45年未満		2	3	1	1		2	9
45年以上								
合計	1	4	18	15	55	118	366	577
平均	38	39	33	31	25	21	10	15

【山陽小野田市消防団】

令和5年4月1日現在 [単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							68	68
5年以上10年未満						2	64	66
10年以上15年未満					1	5	54	60
15年以上20年未満					4	16	38	58
20年以上25年未満			1		4	13	17	35
25年以上30年未満				5	12	11	7	35
30年以上35年未満		1	3	6	5	3	4	22
35年以上40年未満			5	1	2	2	4	14
40年以上45年未満	1		4	1	5	2		13
45年以上		2	1	1	2	1		7
合計	1	3	14	14	35	55	256	378
平均	40	44	37	33	30	23	10	16

5 消防団員年報酬及び費用弁償

【宇部市消防団】

年 報 酬

令和5年4月1日現在 [単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機能別 団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	12,000

出 動 報 酬

令和5年4月1日現在 [単位：円]

1 回あたりの手当支給額			
出 動 (3 時間未満)	出 動 (3 時間以上)	訓 練	講 習
4,000	8,000	5,000	3,000

【山陽小野田市消防団】

年 報 酬

令和5年4月1日現在 [単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

出 動 報 酬

令和5年4月1日現在 [単位：円]

1 回あたりの手当支給額		
出 動	訓練その他の公務	器具手入れ
8,000	5,300	1,200

6 消防団災害出動状況

【宇部市消防団】（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

分 団 名	出動件数 (件)	出動人員 (人)
消 防 団 本 部	21	96
東 岐 波 分 団	1	17
西 岐 波 分 団	5	71
上 宇 部 分 団	1	3
恩 田 分 団	3	12
東 分 団		
西 分 団	5	42
藤 山 分 団	3	25
厚 南 分 団	1	13
厚 東 分 団	2	4
二 俣 瀬 分 団	3	23
小 野 分 団	5	102
機 動 隊	3	25
船 木 分 団	3	23
万 倉 分 団	3	22
吉 部 分 団	2	28
合 計	61	506

【山陽小野田市消防団】（令和4年1月1日～令和4年12月31日）

分 団 名	出動件数 (件)	出動人員 (人)
消 防 団 本 部	3	6
厚 狭 北 分 団	4	19
厚 狭 分 団	4	16
出 合 分 団	5	19
埴 生 分 団	2	7
津 布 田 分 団	2	8
厚 陽 分 団	2	8
高 泊 分 団	3	14
高 千 帆 分 団	5	30
有 帆 分 団	2	8
小 野 田 分 団	2	7
須 恵 分 団	3	9
赤 崎 分 団	2	7
本 山 分 団	2	9
合 計	41	167

7 消防団車両及び機械器具

(1) 配備管理状況

【宇部市消防団】

令和5年4月1日現在 [単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車)
消 防 団 本 部				1	2
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿		1	
		丸 尾		1	
		岐 波 浦		1	
		前 田	1		
	西 岐 波 分 団	白 土	1		
		住 吉		1	
		山 村		1	
中 央 東 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	1		
		開		1	
	恩 田 分 団		1		
中 央 西 方 面 隊	東 分 団	1			
	西 分 団	1			
西 部 方 面 隊	厚 南 分 団	藤 山 分 団		1	
		西 宇 部	1		
		妻 崎		1	
		中 野		1	
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	東 割		1	
		棚 井		1	
		駅 前		1	
	二 俣 瀬 分 団	広 瀬		1	
		木 田	1		
		車 地		1	
		上 山 中		1	
	小 野 分 団	善 和		1	
		下 小 野	1		
		上 小 野		1	
		市 小 野		1	
		楡 小 野		1	
		岩 川		1	
白 木			1		
大 山		1			

[単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車)	
楠 方 面 隊	機 動 隊	1		2	1	
	船 木 分 団	綿 屋 町		1	1	
		下 田 町		1	1	
		新 川		1	1	
	万 倉 分 団	栄 町		1	1	
		沼 田 ヶ 原		1	1	
	吉 部 分 団	中 市		1	1	
		荒 滝		1	1	
合 計		9 台	31 台	42 台	3 台	

【山陽小野田市消防団】

令和5年4月1日現在 [単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車 等)
消 防 団 本 部				2	2
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	1		1	
	厚 狭 分 団	1		1	
	出 合 分 団	1		1	
	埴 生 分 団	1		1	
第 2 方 面 隊	津 布 田 分 団	1		1	
	厚 陽 分 団	1		1	
	高 泊 分 団	1		1	
	高 千 帆 分 団	1		1	
	有 帆 分 団	1		1	
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	1		1	
	須 恵 分 団	1		1	
	赤 崎 分 団	1		1	
	本 山 分 団	1		1	
合 計		13 台		15 台	2 台

(2) 消防ポンプ自動車

【宇部市消防団】

令和5年4月1日現在

所属 / 機庫			車名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポンプ 級別 / 製作所	導入 年月
東部方面隊	東岐波分団	前田	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H27年2月
	西岐波分団	白土	日野 CD-1	4,000	5	A-2 モリタ	H22年2月
中央東方面隊	上宇部分団	沼	いすゞ CD-1	4,777	6	A-2 吉谷	H14年11月
	東分団		日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H26年2月
中央西方面隊	西分団		日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23年12月
西部方面隊	厚南分団	西宇部	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23年1月
北部方面隊	二俣瀬分団	木田	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H8年12月
	小野分団	下小野	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H28年1月
楠方面隊	機動隊		日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H28年1月

【山陽小野田市消防団】

令和5年4月1日現在

所属 / 機庫		車名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポンプ 級別 / 製作所	導入 年月
第1方面隊	厚狭北分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H20年12月
	厚狭分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月
	出合分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20年2月
	埴生分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月
第2方面隊	津布田分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月
	厚陽分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20年2月
	高泊分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	R2年2月
	高千帆分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 日本機械工業	H28年2月
	有帆分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月
第3方面隊	小野田分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H27年3月
	須恵分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H22年3月
	赤崎分団	いすゞ CD-1	4,770	7	A-2 モリタ	H15年3月
	本山分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H20年12月

(3) 小型動力ポンプ付積載車

【宇部市消防団】

令和5年4月1日現在

所 属 / 機 庫			車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	導 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	い す ゞ	TPG-NLR85N	2,990	6	H31年3月
		丸 尾	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H20年12月
		岐波浦	ダイハツ	V-S110W	650	4	H10年11月
	西岐波分団	山 村	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H8年3月
		片 倉	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H12年3月
		住 吉	い す ゞ	TPG-NLR85N	2,990	6	H31年3月
中央東方面隊	恩 田 分 団		日 産	CBF-SQ2F24	1,990	6	R2年3月
	上宇部分団	開	トヨタ	3BF-TRY230	1,990	6	R5年3月
中央西方面隊	藤 山 分 団		トヨタ	LDF-KDY281	2,980	6	R2年12月
西部方面隊	厚南分団	妻 崎	い す ゞ	TPG-NJR85AN	2,990	6	H30年3月
		中 野	日 産	CBF-SQ2F24	1,990	6	R2年3月
		東 割	トヨタ	3BF-TRY230	1,990	6	R4年3月
北部方面隊	厚東分団	駅 前	トヨタ	LDF-KDY281	2,980	6	R3年2月
		棚 井	日 産	GB-SK2F23	1,990	8	H9年9月
		広 瀬	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H11年12月
	二俣瀬分団	車 地	い す ゞ	BKG-NHS85A	2,990	6	H22年3月
		上山中	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25年2月
		善 和	ダイハツ	3BD-S710W	650	4	R5年3月
	小野分団	上小野	ダイハツ	V-S110P改	650	4	H8年2月
		市小野	い す ゞ	TPG-NHS85AN	2,990	6	H31年2月
		楡小野	日 産	ZD30	2,950	6	H20年2月
		岩 川	ダイハツ	GD-S210W	650	4	H14年2月
		白 木	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H11年12月
楠方面隊	船木分団	大 山	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25年2月
		綿屋町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18年2月
		下田町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18年2月
	万倉分団	新 川	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月
		栄 町	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21年12月
		沼田ヶ原	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月
	吉部分団	中 市	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21年12月
荒 滝		ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月	

(4) 小型動力ポンプ

【宇部市消防団】

令和5年4月1日現在

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	導 入 年 月	
消 防 団 本 部		トーハツ	一段タービン	D-1	H28年3月	
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿	ラビット	一段タービン	B-2	H31年3月
		丸 尾	トーハツ	一段タービン	B-2	H20年12月
		岐 波 浦	ラビット	一段タービン	B-3	H10年11月
		前 田	トーハツ	一段タービン	B-2	H27年2月
	西 岐 波 分 団	白 土	ラビット	一段タービン	B-2	H22年2月
		山 村	トーハツ	一段タービン	B-3	H 8年2月
		片 倉	ラビット	一段タービン	B-3	H14年2月
		住 吉	ラビット	一段タービン	B-2	H31年3月
中 央 東 方 面 隊	恩 田 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年3月	
	上 宇 部 分 団	沼	トーハツ	一段タービン	B-3	H14年11月
		開	シバウラ	一段タービン	B-2	R 5年3月
	東 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H26年2月	
中 央 西 方 面 隊	西 分 団	ラビット	一段タービン	B-2	H23年12月	
	藤 山 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年12月	
西 部 方 面 隊	厚 南 分 団	西 宇 部	ラビット	一段タービン	B-2	H23年1月
		妻 崎	シバウラ	一段タービン	B-2	H30年3月
		中 野	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年3月
		東 割	トーハツ	一段タービン	B-2	R 4年3月
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	トーハツ	一段タービン	B-2	H 9年9月
		駅 前	トーハツ	一段タービン	B-2	R 3年2月
		広 瀬	トーハツ	一段タービン	B-3	H 3年11月
	二 俣 瀬 分 団	木 田	ラビット	一段タービン	B-3	H 8年12月
		車 地	シバウラ	一段タービン	B-2	H22年3月
		上 山 中	トーハツ	一段タービン	B-2	H25年2月
		善 和	トーハツ	一段タービン	B-3	R 5年3月
	小 野 分 団	下 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H28年1月
		上 小 野	ラビット	一段タービン	B-3	H 7年2月
		市 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H31年2月
		楢 小 野	ラビット	一段タービン	B-2	H20年2月
		岩 川	ラビット	一段タービン	B-3	H 4年12月
		臼 木	ラビット	一段タービン	B-3	H 8年2月
	楠 方 面 隊	機 動 隊		トーハツ	一段タービン	B-2
			トーハツ	一段タービン	B-2	H28年1月
船 木 分 団		綿 屋 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
		下 田 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
		新 川	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
万 倉 分 団		栄 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年12月
		沼 田 ヶ 原	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年12月
吉 部 分 団		中 市	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年12月
		荒 滝	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年12月

【山陽小野田市消防団】

令和5年4月1日現在

所属 / 機庫		ポンプ 製作所	型式	級別	導入 年月
消防団本部		トーハツ	一段タービン	B-2	H10年1月
		シバウラ	一段タービン	D-1	H27年10月
		トーハツ	一段タービン	C-1	R2年3月
第1方面隊	厚狭北分団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2年2月
	厚狭分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月
	出合分団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2年2月
	埴生分団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2年2月
第2方面隊	津布田分団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2年2月
	厚陽分団	トーハツ	一段タービン	B-2	R2年2月
	高泊分団	シバウラ	一段タービン	B-2	H28年2月
	高千帆分団	シバウラ	一段タービン	B-2	H28年2月
	有帆分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H27年3月
第3方面隊	小野田分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月
	須恵分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月
	赤崎分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月
	本山分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月

(5) その他の車両

【宇部市消防団】

(指令車)

令和5年4月1日現在

所属 / 機庫	車名 / 型式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	導入 年月
消防団本部	日産	5BA-NT32	1,990	5	R4年2月
	三菱	DBA-CV5W	2,350	8	H29年12月
機動隊	日産	CBA-NC25	1,990	8	H18年2月

【山陽小野田市消防団】

(指令車・防災学習車)

令和5年4月1日現在

所属 / 機庫	車名 / 型式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	導入 年月
消防団本部	トヨタ	3BA-ZRR80G	1,980	8	R3年1月
消防団本部	日産	LDF-CW8E26	2,480	6	R2年3月

8 消防団機庫

【宇部市消防団】

令和5年4月1日現在

所属 / 機庫		場所	土地 (㎡)	建物 (㎡)	建築 年 月	
東 部 方面隊	東岐波分団	古 殿	大字東岐波 494-4	96.64	25.63	S55年3月
		丸 尾	大字東岐波 4138-13の一部	32.96	11.93	S54年3月
		岐波浦	大字東岐波 1450-2	63.94	15.44	H4年12月
		前 田	大字東岐波 1777	38.71	38.71	H27年2月
	西岐波分団	白 土	床波四丁目 2076 他	327.69	83.22	H22年3月
		住 吉	床波六丁目 3041-18・19	90.18	32.66	H9年3月
		山 村	大字西岐波 2478	300.00	30.48	H6年3月
		片 倉	大字西岐波 5172-1	143.35	15.44	H10年1月
中 央 方面隊	上宇部分団	沼	沼二丁目 1669-3の内	43.12	30.00	S48年12月
		開	常盤台二丁目 834-1	194.00	30.18	H10年3月
	恩 田 分 団	八王子町 636-9	126.24	30.00	S48年12月	
	東 分 団	松山町二丁目 5-16	74.77	28.79	S32年11月	
	西 分 団	島三丁目 1-9	383.47	83.22	H24年3月	
西 部 方面隊	藤 山 分 団	文京町 2244-1	30.48	30.48	H8年3月	
	厚南分団	西宇部	西宇部南二丁目 1350-1	175.46	38.71	H23年3月
		妻 崎	大字東須恵 2954-1	146.00	28.50	S47年2月
		中 野	大字東須恵 276-4の一部	218.60	33.84	H13年3月
東 割		大字妻崎開作 1	111.09	22.21	S52年10月	
北 部 方面隊	厚東分団	棚 井	大字棚井 43-3の一部	56.61	26.14	H8年3月
		駅 前	大字吉見 966-12	79.25	30.48	H7年4月
		広 瀬	大字広瀬 560-1	11.46	11.46	S62年12月
	二俣瀬分団	木 田	大字木田 560-3の一部	22.21	22.21	S53年2月
		車 地	大字木田 173	30.48	30.48	H2年2月
		上山中	大字山中 411-9	119.00	28.97	H15年12月
		善 和	大字善和 108-2・5	135.80	15.44	H9年3月
	小野分団	下小野	大字小野 8265-22の一部	71.70	30.48	S61年6月
		上小野	大字小野 3677	13.20	12.67	S54年3月
		市小野	大字小野 1305 第1	30.00	22.90	S50年12月
		楡小野	大字楡小野 534-2	38.50	21.00	S48年10月
		岩 川	大字小野 6731 第3	53.03	17.80	H14年11月
		白 木	大字小野 10139-2の一部	11.46	11.46	S60年3月
大 山	大字小野 9129-2の一部	15.44	15.44	H4年12月		

所属 / 機庫		場所	土地 (㎡)	建物 (㎡)	建築 年 月	
楠 方面隊	機 動 隊	大字船木 442-10	99.10	41.83	S58 年 3 月	
	船 木 分 団	綿屋町	大字船木 184	161.98	16.20	H12 年 3 月
		下田町	大字船木 690-5	147.16	18.25	H18 年 2 月
		新 川	大字船木 3648-1	801.90	20.22	H26 年 2 月
	万 倉 分 団	栄 町	大字西万倉 1698-1	413.96	52.54	S60 年 1 月
		沼田ヶ原	大字芦河内 11-6	213.00	25.20	H16 年 12 月
	吉 部 分 団	中 市	大字東吉部 3329-4	196.17	34.35	H13 年 11 月
		荒 滝	大字東吉部 1086	542.14	18.25	H14 年 3 月

【山陽小野田市消防団】

令和5年4月1日現在

所属 / 機庫		場所	土地 (㎡)	建物 (㎡)	建築 年 月	
第1方面隊	厚狭北分団	厚狭北分団庫	大字厚狭 5112 番地 5	287.18	67.50	H20年 3月
		赤川防災倉庫	大字厚狭 5723 番地 1	188.70	12.20	H 1年 1月
		森広防災倉庫	大字厚狭 2708 番地 3	—	12.60	—
	厚狭分団	厚狭分団庫	大字鴨庄 99 番地 1、99 番地 2 の一部	283.13	66.75	H28年 3月
		厚狭防災倉庫	大字鴨庄 98 番地 1	—	78.00	S59年 12月
		鴨庄防災倉庫	大字鴨庄 590 番地 5	—	12.40	—
		下津防災倉庫	大字郡 2013 番地 5	324.45	22.30	H 3年 1月
	出合分団	出合分団庫	大字山野井 2743 番地	167.71	49.95	H19年 3月
	埴生分団	埴生分団庫	大字埴生 525 番地 1	557.72	67.50	R 4年 3月
		福田防災倉庫	大字福田 777 番地 9	55.10	24.00	S61年 3月
大持防災倉庫		大字埴生 3133 番地 5	94.53	17.50	H 3年 12月	
第2方面隊	津布田分団	津布田分団庫	大字津布田 1061 番地	436.75	31.05	H16年 11月
	厚陽分団	厚陽分団庫	大字郡 3976 番地 17	282.00	49.95	H19年 3月
	高泊分団	高泊分団庫	大字西高泊 1768 番地 1	164.82	49.95	S61年 3月
	高千帆分団	高千帆分団庫	日の出一丁目 1 番 1 号 山陽小野田市役所併設	—	58.48	H 7年 3月
	有帆分団	有帆分団庫	新有帆町 739 番地 4	174.25	52.65	S60年 3月
第3方面隊	小野田分団	小野田分団庫	栄町 7 番 3 号	95.52	48.19	H 2年 3月
		小野田防災倉庫	大字小野田 6114 番地 3	170.56	52.00	S55年 11月
	須恵分団	須恵分団庫	港町 7 番	267.40	61.84	H12年 2月
	赤崎分団	赤崎分団庫	赤崎一丁目 1 番 5 号	174.25	52.65	S60年 3月
		旧赤崎水上分団庫	大字小野田 2040 番地 3	—	28.25	S55年 2月
	本山分団	本山分団庫	大字小野田 11967 番地	498.31	52.00	S57年 12月

9 消防団協力事業所

【宇部市消防団協力事業所一覧】

令和5年4月1日現在

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	山口県農業協同組合	平成22年3月1日
2	UBE株式会社 宇部ケミカル工場	平成22年3月1日
3	宇部マテリアルズ株式会社	平成22年3月1日
4	チタン工業株式会社	平成22年3月1日
5	宇部物流サービス株式会社 宇部営業所	平成22年3月1日
6	船木鉄道株式会社	平成22年3月1日
7	新川物流株式会社 西宇部営業所	平成22年3月1日
8	山口県漁業協同組合 宇部統括支店	平成23年3月1日
9	宇部フロンティア大学	平成30年3月1日
10	山口大学 工学部	平成30年3月1日



【山陽小野田市消防団協力事業所一覧】

令和5年4月1日現在

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	THK株式会社 山口工場	平成23年3月18日
2	厚和産業株式会社	平成23年3月18日
3	株式会社NITTAN 山陽工場	平成23年3月18日
4	化薬ヌーリオン株式会社 厚狭工場	平成23年3月18日
5	日本化薬株式会社 厚狭工場	平成23年3月18日
6	日産化学株式会社 小野田工場	平成23年3月18日
7	共英製鋼株式会社 山口事業所	平成23年3月18日
8	戸田工業株式会社 小野田事業所	平成23年3月18日
9	西部石油株式会社 山口製油所	平成23年3月18日
10	光洋技研株式会社 山口工場	平成29年3月17日
11	田辺三菱製薬工場株式会社 小野田工場	平成29年3月17日
12	長州産業株式会社	平成29年3月17日
13	有限会社栗栖工業 小野田営業所	令和3年3月22日
14	富士商グループホールディングス株式会社	令和3年3月22日
15	山陽小野田市立山口東京理科大学	令和3年3月22日
16	株式会社 晃栄	令和4年3月22日
17	宇部フィルム株式会社	令和5年3月17日
18	山陽プロパン株式会社	令和5年3月17日



【総務省消防庁消防団協力事業所一覧】

令和5年4月1日現在

番号	事業所名	初年度登録年月
1	厚和産業株式会社	平成24年2月
2	宇部フロンティア大学	平成31年2月
3	化薬ヌーリオン株式会社 厚狭工場	令和3年3月



消 防 年 報

(令和4年版)

発行日 令和 5 年 (2 0 2 3 年) 8 月

発行者 宇部・山陽小野田消防組合
山口県宇部市港町二丁目3番30号

U R L <https://www.ube-sansho119.jp/>

E-M a i l soumu@ube-sansho119.jp

編 集 宇部・山陽小野田消防局 総務課
TEL(0836)21-6112 FAX(0836)31-0119

印 刷 宇部・山陽小野田消防局 総務課